平成25年度菊陽町社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人　菊陽町社会福祉協議会

目　次

Ⅰ　地域とのかかわりを強化し、地域の課題を地域で解決する仕組みづくりに取り組みます

１　地域福祉の推進体制の強化　・・・５Ｐ

２　地域福祉の拠点づくり　・・・１０Ｐ

Ⅱ　地域への関心を高め、地域福祉を支える人材を発掘、育成します

１　ボランティア講座の充実　・・・１２Ｐ

２　キャロットサービスの充実　・・・１４Ｐ

３　福祉教育の充実　・・・１５Ｐ

Ⅲ　社会福祉協議会活動や地域住民による取組を積極的に情報発信していきます

１　情報発信の強化　・・・１６Ｐ

２　ボランティア活動の周知啓発

Ⅳ　安心した生活を送ることができるよう、福祉ニーズに対応したサービスを提供していきます

１　地域福祉事業の推進　・・・１７Ｐ

２　ボランティアセンターの機能強化　・・・２３Ｐ

３　相談支援体制の整備　・・・２４Ｐ

４　各種イベントの充実　・・・２８Ｐ

５　高齢者の在宅支援サービスの充実　・・・３１Ｐ

６　子育て世帯へのサービスの充実　・・・３７Ｐ

７　障がい者へのサービスの充実　・・・４１Ｐ

Ⅴ　安全で住みよいまちを目指して、交通安全の啓発、減災に取り組んでいきます

１　交通安全に向けた意識の啓発　・・・４２Ｐ

２　減災支援

Ⅵ　菊陽町社会福祉協議会の基盤体制の整備

１　法人運営・基盤強化　・・・４３Ｐ

２　その他業務　・・・４８Ｐ

３　日赤社資　・・・４９Ｐ

４　赤い羽根共同募金　・・・５１Ｐ

平成25年度社会福祉協議会事業報告

菊陽町社会福祉協議会　基本理念
「地域ぐるみで支え合う安心・安全に暮らせるまちづくり」

１　住民の皆さまの困りごとの声を聴き、ともに考え、支える体制を作ります
２　互いの個性を尊重しあった「共生社会」の実現に向けて進めます。
３　在宅支援サービスの整備に取り組みます。
４　地域、関係機関と協同した誰もが安心して暮らすことができる地域づくりに取り組みます。

【地域福祉の推進体制の強化】

〇地域と関係機関との横の連携について

地域を支えるためには、地域の関係者、関係機関と横のつながりを強化していくことが大切であり、特に要支援者を支えるときや、緊急な支援を必要としている場合など、活動の理解と支援を取り付けることが、その難局を乗り越えることが出来るものと考えている。

平成25年度は第4期地域福祉活動計画の初年度として取り組んだ。

〇地域福祉見守り支援活動助成金

平成25年度地域福祉活動として、地域福祉見守り支援活動助成金活動のモデル地区は10ヶ所、ふれあいサロンは28ヶ所、それぞれに地域の特色を生かした活動の展開をしていただいた。

またその活動の中で、地域の支援者会議（地域の福祉について語り合う場）を開催されるなど、活動の充実を図っていただいた。

〇緊急時あんしんカード

地域から発案ありました「緊急時あんしんカード」の作成を、熊本県社会福祉協議会の安心生活支援活動推進事業の助成をもって、平成26年3月現在、約200人分を作成し、お渡しすることができた。

このカードは、外出した時に不慮の事故があった場合や、道端で倒れた時などの、緊急時に連絡先がわかるカードであり、今後も事業の継続を考えている。

〇ボランティア講座

平成25年度は、日常の福祉を支えていただくボランティア活動の充実として、熊本県社会福祉協議会のボランティア活動促進事業の助成を受けて、災害ボランティア講習会、ボランティア福祉体験学習のサポート学習会など、各種のボランティア講座を開催した。今後は、その講座で取得された知識を生かしていただきたいと考えている。

【地域福祉の拠点づくり】

ほっとステーション武蔵ヶ丘が、平成25年10月で、まる3年となり、武蔵ヶ丘団地の福祉の交流拠点として、1年1年成長しているところである。集まられる人は、地域の高齢者だけでなく、障がい者、子育て中のお母さん等幅広く立ち寄っていただいている。

また、本年は就労希望者への情報コーナーも設置した。様々な生活相談もあって、関係機関につなげている。

【住民参加型事業】

ファミリー・サポート・センター事業を平成25年度に菊陽町より受託し、これまでのキャロットサービスを拡充する活動を展開することが出来た。

子育ての困りごとに対し、会員の皆さまの支援により、親元からの支援が得られない人々や、ひとり親にとって心強い支援体制となった。

今後も支援者の学習機会を設けながら、安全な活動を提供できるよう、地域とともに支援していきたい。

【相談体制の整備】

ふれあい総合相談は、専門相談体制が充実したこともあり、一般相談が減少している。心配ごと相談員とともに、町民の皆さまへPRを強化するなど、取り組んでいく必要がある。

貸付事業においては、生活保護世帯などの生活困窮者世帯の相談も年々増えているが、貸付条件に満たさない相談も多く、生活支援として就労支援へ結んでいったり、総合的な生活相談に応じた。

また、地域福祉権利擁護事業においては、知的障がいがありながらも、在宅生活をされている人々への支援も行っている。

【高齢者在宅福祉サービス事業】

基本理念の「地域ぐるみで支え合う安心・安全に暮らせるまちづくり」を介護保険サービス事業、障害者自立支援事業、町受託の介護予防サービス事業などで、取り組んできた。

経営面でみると、配食見守りネットワーク事業の漸減傾向があげられる。その要因は、利用者の減少であった。対策として経費を抑える努力をしたが、前期繰越金にて手当てを行うこととなった。

今後の対策としては、職員への経営感覚を養うとともに、社会保障制度改革による、軽度者の介護保険報酬の見直しや、町の介護予防の委託料改定を注視しながら対策を考えたい。

また、介護保険事業については、職員の新旧交代や育児休業等の体制変化により収益に変化が生じた。

【法人運営・基盤強化】

〇社協会費、寄付金、共同募金、日本赤十字社社資

住民の皆さまへ毎年、区・自治会を通してお願い致している。町社会福祉協議会の歴史もあり、区によっては予算化して、区民の皆さまに了承をいただいているところなど、徴収方法はそれぞれ考えて、取り組んでいただいている。

近年は、菊陽町の人口増加とともに、新しい世帯が転入されており、特にアパートで生活されている世帯が区に加入されていないなど、区の地域課題もあり、各種の納入等は伸び悩んだ。

このような状況が続き、地域福祉活動で影響が出ないよう、これまで以上に町社会福祉協議会活動を理解していただく工夫が必要です。

〇第４期地域福祉活動計画

平成２５年３月に策定しました地域福祉活動計画は、菊陽町の地域福祉計画と同時に一体となって策定することが出来た。この計画では、ワークショップ（懇談会）で、各種の関係機関、団体、住民代表の皆さまに参加いただき、ご意見とこれまでの活動の評価等をまとめ、策定させていただいた。

これからもこの計画が、ただ単に策定したことにならないよう、年次の振り返りをしながら定期的に計画の評価、見直しをしていくこととしていく。

〇菊池ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定

平成２６年１月１６日、菊池市、合志市、大津町、菊陽町の社会福祉協議会の管内において災害が発生し、被災した地を有する社会福祉協議会が、自社の活動が十分に実施できない場合、社会福祉協議会相互間の応援を円滑に行うために結んだ。

今後の課題としては、災害時における多様なニーズに対して、日々の備えがあることが大切であり、対応のできる体制を組織し、いつでも力を発揮できるよう、できるところから力をつけていきたい。

このマークがついている事業は、町の委託金、補助金で実施している事業です。

このマークがついている事業は共同募金の地域配分金で実施している事業です。

このマークがついている事業は、県社会福祉協議会の補助金で実施した事業です。

Ⅰ　地域とのかかわりを強化し、地域の課題を地域で解決する仕組みづくりに取り組みます

１　地域福祉の推進体制の強化

(1)　支援体制の仕組みづくり

地域の関係者、関係機関と横のつながりを強化していくことが大切であり、特に要支援者を支えるときや、緊急な支援を必要としている場合など、活動の理解と支援を取り付けることが重要である。菊陽町民生委員児童委員協議会、サービス提供事業所や医療機関など、関係機関と協議しながら進めていきたい。

ア　地域ケア会議

菊陽町地域包括支援センターと町社会福祉協議会事業担当者との地域ケア会議の開催

毎週水曜日　　サービスの情報交換と介護予防サービスの判定

イ　菊陽町地域包括支援センター会議

5月15日　7月18日　9月19日

11月12日　1月10日　3月21日

ウ　民生委員児童委員協議会会議出席　　月１回

(2)　校区の共通した福祉課題を話し合う場づくり

ア　区長会・民生委員児童委員協議会合同の地域福祉研修会への参加

２地区による事例報告。また地域福祉計画・地域福祉活動計画についての説明をさせていただいた。今後は、校区ごとの会議実施について進められる予定。

日　付	会　議　名	人数	参　加　者
5月8日	合同研修打合せ	10	菊陽町福祉行政担当職員及び町社会福祉協議会会議
5月31日	菊陽町区長会・民生委員児童委員協議会合同の地域福祉研修会	127	区長、民生委員・児童委員、菊陽町、町社会福祉協議会職員

(3)　地域支援者会議

ア　地域支援者会議（少人数会議報告）

区長や民生委員・児童委員等地区で選定した福祉の関係者が、地域の福祉について話し合う場に参加させていただき、地区の現状や課題について話し合った。

NO	日付	会議名	参加数	概要
1	4月8日	三里木区少人数会議	9	防災マップの活用
2	5月19日	南八久保区会議	9	ふれあいサロンについて
3	5月29日	武7町内少人数会議	8	今年度の活動について
4	6月10日	三里木区少人数会議	9	地区の状況について
5	6月24日	南方区少人数会議	4	座談会振り返り
6	6月13日	光団地区見守り会議	7	見守り活動の現状
7	8月12日	三里木区少人数会議	7	防災マップについて
8	8月27日	武7町内少人数会議	5	助成金申請について
9	10月15日	三里木区少人数会議	7	防災マップについて
10	11月14日	光団地見守り会議	7	活動の現状について
11	11月21日	上中代おしゃべり会参加	15	フラワーアレンジメント
12	12月1日	南方区子ども交流会	27	子ども地域座談会
13	12月5日	上中代ふれあい隊定例会	8	活動報告について
14	12月9日	三里木区少人数会議	8	活動状況について
15	12月15日	上中代見守り隊報告会	21	今年度の活動報告
16	1月24日	武2町内少人数会議	5	今年度活動報告
17	1月28日	南方区少人数会議	4	交流会活動振り返り
18	2月4日	三里木区少人数会議	7	ふれあいサロンについて
19	2月5日	中代区少人数会議	10	今年度活動について
20	2月6日	新町区少人数会議	13	活動報告について
21	2月13日	光団地見守り会議	5	活動の現状について
22	3月10日	三里木区少人数会議	8	ふれあいサロンについて
23	3月22日	馬場区見守り会議	20	活動の現状について

イ　地域福祉見守り支援活動助成金

地域の支え合い活動強化事業（安心生活支援活動推進事業）

①　概要

地域福祉見守り支援活動助成金交付を始めて、3年目。平成25年度は、10地区に助成金を交付し、地区ごとの取組を行った。

住民を主体とする話し合い（座談会等）や、見守り活動を視点とした地域活動を進めるには、どんな課題があるかを検討し、課題を解決するために地域で取り組むこと、町社会福祉協議会が支援することを整理していった。

事業を開始する前には説明会を実施し、事業終了時には報告会を開催し、今後も継続した地域の支え合い活動が実施できるような取組について研修を行った。

②　地域福祉見守り支援活動助成金交付地区

1	新町区（3回目）	6	三里木区（2回目）
2	南方区（3回目）	7	武蔵ヶ丘2町内（2回目）
3	馬場区（3回目）	8	上中代区（2回目）
4	中代区（3回目）	9	杉並台区（2回目）
5	武蔵ヶ丘7町内（3回目）	10	武蔵ヶ丘4町内（1回目）

③　活動内容

NO	行政区名	活動概要
1	新町	見守り組織を作り、区長や民生委員・児童委員、その他ボランティアの人が無理のない範囲の見守り活動や情報交換が行われた。
2	南方	子どもの見守り活動を視点に、あいさつ運動や交通安全教室等の実施。子どもとの交流会・話し合いを行い、そこで出た地域の課題を解決するため活動を進めていく。子どもと一人暮らし高齢者の意見交換会及び交流会を実施された。
3	馬場	見守り組織を作り、毎月第4土曜日に数名のグループに分かれ、対象者宅を訪問活動された。区民の周知や理解促進のため活動中着用するジャンパーを購入された。
4	中代	区内に組織されたボランティアグループこすもす会による地域の見守り活動。区内の保育園での交流活動や、高齢者とのお茶飲み会などを実施された。
5	武7町内	区長、老人会長、民生委員児童委員、見守り支援隊を中心に、話し合いを重ねながら地域の連携を深め、町内諸活動の活性化を進めていく。ボランティアグループの強化を図られた。
6	三里木	2ヶ月に1回、区長を中心とする見守りボランティアが話し合う会議を実施し年間2回の区一斉清掃時に危険ヵ所チェック活動を行った。また、防災マップの配布や身近な暮らしについて話す会を行われた。
7	武2町内	区民総出の行事がなかったことから、グラウンドゴルフ交流大会を計画した。（実施当日雨天により室内レクリエーションを行った。）また、25年度も婦人部を中心とした団地棟ごとの見守り活動を展開された。
8	上中代	月に3～4回程度、一人暮らし高齢者や高齢世帯、障がい者世帯の家庭訪問をボランティアグループで活動を行われた。また、25年度より月1回公民館を開放し、自由に集まるおしゃべり会を開始された。
9	杉並台	地区でふれあいサロン等地域の人が集う機会を増やしているが、来られない人や来ない人への対応を検討された。
10	武4町内	町内集会所を常時開放し、地区の誰もが集える場所にされている。また婦人会員が協力し、区内の高齢者等の見守り安否確認活動を行われ、その活動の充実のため、座談会を開催された。

④ 座談会及び情報交換会等報告

地域福祉見守り支援活動助成金継続地区審査会 平成25年4月25日実施 参加者 4人	継続して活動を実施する地区への助成金申請審査会を実施した。 菊陽町福祉課 菊陽町民生委員児童委員協議会長 町社会福祉協議会
地域福祉見守り支援活動助成金新規地区審査会 平成25年6月11日実施 参加者 4人	新規に活動を取り組む地区への助成金申請審査会を実施した。 菊陽町福祉課 菊陽町民生委員児童委員協議会長 町社会福祉協議会
地域懇談会（ワークショップ）説明会 平成25年8月7日実施 モデル地区の関係者に参加していただき地域の支え合い活動の必要性や、地区の現状について、地域座談会の実施お願いについて説明会を実施した。 参加人数 14名 地区参加者11名 社協職員 2名 アドバイザー1名	
杉並台区敬老会 地域福祉学習会 平成25年9月16日実施 宅地分譲等で住民の入れ替わりがあり、旧住民と新住民が分かれてきている現状があり、見守り活動を進める上でも、福祉について学習し、高齢者だけでなく広く福祉意識の向上を図るため、地域福祉学習会を敬老会の一つとして実施された。 敬老会対象者だけでなく地域の人も多く参加された。	
三里木区身近な暮らしについて話す会（1回目） 平成26年1月23日実施 ふれあいサロン活動等長年実施してきたが、アパート世帯が増えたといった地域特性上、年々地域のつながりが疎遠になっているこの地区で、一斉清掃時に合わせて、区内の危険ヵ所チェック運動や、防災・見守りマップを作成するなど少しずつ活動を展開している。 見守り活動の更なる充実のために組織化を図るため、地域での話し合いを実施し、地域の課題について整理した。 参加者人数 22名	

三里木区身近な暮らしについて話す会 （2回目） 平成26年2月20日実施 前回実施した話し合いを基に、具体的な解決方法について協議した。 参加者は、前回に引き続き、地区の福祉関係者や役員等を中心に参加された。 地域の人がつながるきっかけが、まだ足りていない現状が浮かび上がった。 見守り活動の充実のために、今後とも話し合いを継続し、組織化に向けた活動となるよう町社会福祉協議会も支援していく。 参加者人数　17名	
武蔵ヶ丘4町内地域福祉座談会の開催 平成26年2月12日実施 県営武蔵ヶ丘団地中央に位置するこの地区で、孤独死が増えている昨今の課題を受け、婦人部が中心となった見守り活動を展開しておられるが、更なる活動を展開するため、婦人部による地域福祉座談会を開催した。 次年度は役員も交えた座談会を実施し、さらに活動について検討していきたいとの発表もあった。 参加者人数　11名	
見守り支援活動助成金報告会の開催 平成26年3月11日実施 1年間の活動報告及び大津町楽善区区長にご出席いただき、活動発表会を開催した。 それぞれの区で取り組んでおられる中での課題、苦労していること、組織的な見守り活動や先進的な事例など、各地区の地域特性に応じたそれぞれの取組について学び、町全体への意識啓発にもなった。 参加者人数　50人	

ウ　地域福祉活動計画に関する会議

平成25年度に策定した菊陽町地域福祉計画・地域福祉活動計画に関する打合せ会議を実施した。

NO	日付	参加者数	参加数	参加者数
1	4月2日	5	4月19日	4
2	4月18日	4	4月23日	4

(4) 隣近所の見守りネットワーク作り

ア　見守りネットワーク事業

地域の中で、民生委員・児童委員を中心とした隣近所で高齢者等の安否を見守る活動を行い、緊急時における対応について「ふれあいカード」を作成し、支えあい活動を展開した。

① 見守り表の作成

見守り件数（対象者カード数）	協力員総数
298件	387人

イ　民生委員児童委員協議会との共催

① 一人暮らし高齢者へのごみ袋配布事業（平成25年5月）
② 高齢者調査（平成25年4月～5月実施　）一人暮らし675人高齢者世帯673世帯
③ 一人暮らし高齢者鏡餅配布（平成25年12月27日実施）　　配布世帯　534世帯
④ お便り運動（地区ごとに敬老会にあわせ実施）
　子ども会を通して一人暮らし高齢者や高齢者世帯の人へおたよりを届ける

ウ　緊急時あんしんカード交付事業（安心生活支援活動推進事業）

① 概要

免許証サイズの緊急連絡先個人カードの作成を受け付け、外出時だけでなく、屋内で急に倒れた時、財布等の中を確認したときに、地域の人や、サービス事業者、救急隊員などの発見者が、円滑な連絡体制を図れるようになることを目的とし、個人が見守り活動を意識していただくきっかけつくりを行う。

② 経過報告

11月	カードプリンター購入
1月	消耗品購入
2月	区長、民生委員・児童委員へご依頼 民生委員児童委員協議会にて周知
3月	カード申込開始

外観

カード

③ 周知方法

区長、民生委員・児童委員に、緊急時あんしんカード作成の周知依頼を送付。民生委員・児童委員には、見本カードを送付し、各地区で周知をしていただいた。

平成26年3月末時点で約200名の方の申し込みがあっている。区長、民生委員・児童委員がとりまとめて申込みをいただいたり、本人から直接申し込みいただいたり、老人会より申し込みがあっている。

今後は、見守り活動の手引を用いながら、さらなる周知を図り、必要な人にお申込みいただくよう支援していく。

④ カード記入例

表面

緊急時あんしんカード

氏名	菊陽　太郎
住所	菊陽町菊陽久保田 2623 番地
電話番号	096-123-4567
血液型	A
その他	

菊陽町社会福祉協議会　096-232-3593

裏面

緊急時あんしんカード　緊急連絡先

緊急連絡先１		緊急連絡先２	
氏名	熊本一郎	氏名	熊　本子
電話番号	096-123-456	電話番号	096-321-456
続柄	弟	続柄	隣人
携帯番号		携帯番号	

(5) 専門チーム会議の開催

各個別の援助方法に対して、菊陽町地域包括支援センターや、菊陽町担当部局、医療機関等との担当者会議を実施している。今後さらに困難なケースも増えてきていることから、広域的かつ横断的な各関係者が集える専門チーム会議の開催に向けて、検討を進めていく。

2 地域福祉の拠点づくり

(1) 誰もが集える場づくり

ア ほっとステーション武蔵ヶ丘

平成22年10月に武蔵ヶ丘ショッピングセンター内に、交流拠点施設を開設。武蔵ヶ丘団地の地域の方が広く利用できる拠点作りを実施した。平成25年度は、就労支援に関する求人情報等の掲示板を配置し、生活困窮者に対する支援を始めた。また、平成26年2月より、エアコン及び畳撤去工事を行い、利用者や日替わりオーナーが利用しやすい環境整備に努めた。

イ ほっとステーション武蔵ヶ丘交流室利用件数

① 月別利用者数

4月	213	10月	375
5月	215	11月	262
6月	263	12月	327
7月	251	1月	292
8月	331	2月	367
9月	210	3月	350
			合計　3，456人

前年度利用者計　2,190 人（約 1,200 人の増）

3周年祭　平成25年10月14日

② ほっとステーション武蔵ヶ丘使用グループ状況

事業名	事業名
ふれあいランチ	折り紙の会
ほっとカフェ（喫茶）	楽器演奏の会
HUGHUG（子育てサークル）	歌を唄う会
発達障がいを学ぶ会	健康相談（看護師による血圧測定）
健康体操教室	介護予防学習会
寺子屋（英会話）	布を使った小物つくり会
絵画の会	菊陽病院による健康相談
就労支援掲示板	茄子の会（作品展示）

ウ 縁側 食を支えるボランティアグループ

平成25年度より、数量限定で、毎日ランチの提供を開始した。

オーナー及び提供者	内　容
キッチンライフきたおか	惣菜・弁当販売
スマイル	惣菜・弁当・スイーツ販売
やすらぎハウス	惣菜・弁当販売
てまり	惣菜・弁当販売
ソレイユ（テクニカル工房）	クッキー、パウンドケーキ販売
熊本菊陽学園	パン販売
町内農家の皆さま 後藤農園、内藤、松本、中村農園 やすらぎハウス、菊陽苑、舟津、 りとる農房、阿武ファーム	旬の野菜販売

エ イベント

開催日	イベント名	参加者数
4月4日	お花見会	17人
6月8日	フリーマーケット祭	70人
8月31日	そうめん流し	50人
10月14日	3周年創業祭	120人
12月24日	クリスマス会	27人
2月4日	豆まき会	14人

オ 会議報告

会議名称	日　付	内　容
職員会議	5月24日、6月27日、7月8日 7月25日、9月5日、10月3日 11月15日、1月6日、3月7日	イベント打合せ、運営上の打合せ他
日替わりオーナー会議	6月4日、8月27日、10月10日 12月3日、3月6日	調理室清掃について、イベント打合せ、運営打合せ他
武蔵ヶ丘ショッピングセンター会議	5月30日、7月26日、9月20日（総会） 2月7日、3月19日	運営打合せ他

ほっとステーションクリスマス会

Ⅱ　地域への関心を高め、地域福祉を支える人材を発掘、育成します

１　ボランティア講座の充実

(1)　各種ボランティア講座の充実

平成25年度は、地域福祉を支える人材を発掘するために、様々なボランティア講座を開催させていただいた。今後も地域の福祉ニーズを踏まえ、どういったボランティア活動が求められているか検討しながら講座の開催を進めていきたい。

(2)　福祉体験支援ボランティア養成講座

町内の小中学生を対象に、福祉体験学習を実施しているが、学習支援ボランティアを養成することを目的に開催した。

ア　実施報告

NO		日　時	内　容	参加者数
1	第１回	７月２日(火)	福祉教育の意義　車いすの使用法と注意点 車いす体験　介助体験	7
2	第２回	７月９日(火)	高齢者の体の変化と特徴　心の変化 高齢者疑似体験、装着方法について 福祉用具の紹介（県介護実習・普及センターより）	20
3	第３回	７月23日(火)	町社会福祉協議会で実施する福祉体験 今後の活動について	8

(3)　介護職員初任者研修（旧2級ホームヘルパー養成講座）

２級訪問介護員養成講座は18人の参加があった。

8月31日～12月23日	菊陽町福祉支援センター	18

(4)　傾聴ボランティア講座

相手の話に耳と心を傾け、じっくりと相手に寄り添う傾聴ボランティア活動を学び、身近にできるボランティア活動として実施しているが、活動者へのフォローアップ講座を開催した。

ア　講座実施報告

開催日	内容	講師	参加人数
6月11日	活動開始後の注意点 活動時の困りごと、悩み、問題 事例検討 「死にたい」などのマイナスの話が続くとき	NPO法人 傾聴ネットキーステーション 代表　菊池美保子氏	22
8月20日	情報交換会 各グループの活動報告 他グループとの情報交換	町社会福祉協議会	19
2月12日	傾聴ボランティアの自己成長 現在の活動状況について	NPO法人 傾聴ネットキーステーション 代表　菊池美保子氏	17

イ　傾聴ボランティア活動報告

傾聴ボランティア活動を町内福祉施設で実施した。

	活動日	参加人数	活動日	参加人数	活動日	参加人数
きほう苑	5月27日	6	6月19日	3	6月28日	3
	7月26日	3	7月29日	4	10月23日	3
	10月25日	2	11月22日	4	**小計**	**28**
サンライズヒル	5月14日	4	5月28日	6	6月4日	2
	6月18日	2	7月9日	4	7月23日	5
	8月6日	4	8月21日	5	9月2日	7
	9月26日	2	10月22日	7	11月5日	5
	11月20日	1	1月23日	6	1月29日	3
	2月18日	1	**小計**	**64**	**合計**	**92**

(5) 災害ボランティア講座

災害時にできるボランティア活動を学ぶことを目的に実施した。

ア　講座実施報告

	開　催　日	内　　容	講　　師	参加者数
第1回	10月29日(火)	災害時でのボランティア活動 活動の種類、役割について 被災地での体験 防災ゲーム・教材の紹介	県ボランティアセンター所長 江口　俊治　氏	30
第2回	11月19日(火)	土のう詰め体験 ハイゼックス米作り体験 防災ゲーム「クロスロード」 災害時足湯ボランティア活動	県ボランティアセンター所長 江口　俊治　氏 日本赤十字社熊本支部	26
第3回	12月17日(火)	阿蘇市の被災状況 災害ボランティアセンター 自治会の事例から学ぶ	阿蘇市社会福祉協議会視察研修	20

(6) 地域サポーター養成講座

地域の見守り活動を推進する地域サポーター養成講座を開講し、修了生は様々な地域福祉活動で活動していただいている。

ア　地域サポーター養成講座

高齢者の増加と高まる生活相談、介護の悩み等にこたえるため、より広く地域の人を支える仕組みを作っていくために、町の委託を受け養成講座を実施した。

修了証交付者　　９　人　　修了証交付者総数　74人（平成26年3月現在）

①　プログラム

開催回	月　日	演習題目
第1回	1月17日(金)	町内バスハイク「地域の現状について見てみよう」
		菊陽町の福祉のサービスについて学ぼう
第2回	1月24日(金)	福祉について語ろう！①
		障がい者疑似体験
第3回	1月31日(金)	福祉について語ろう！②
第4回	2月7日(金)	地域で支える認知症「映画鑑賞」
		福祉について語ろう！③
第5回	2月14日(金)	地域福祉って何だろう
		菊陽町社会福祉協議会の地域支え合い活動 キャロットサービス　ほっとステーション他
第6回	2月21日(金)	わくわくコミュニケーションの方法
		車いす・高齢者疑似体験
第7回	2月28日(金)	視察研修
第8回	3月7日(金)	あなたならその時どうする「クロスロード」演習
		地域の支え合い活動について語り合おう

イ　地域サポーター定例会

	内　　容	参加者数
第1回	6月21日 金融広報アドバイザーによる「県内の消費生活相談の動向」	31人
第2回	12月12日 地域密着型特別養護老人ホームきほう苑きらら施設見学	30人 （介護教室参加者数含む）
第3回	3月11日　　ボランティア活動状況について	24人

(7) 初心者ボランティア研修会

ア　HUG（避難所運営ゲーム）演習会

中学校での福祉体験の項目の一つとして、災害ボランティア講座受講修了生へご依頼し、HUG（避難所運営ゲーム）推進役の養成演習を実施した。

平成26年2月20日　6人参加（職員含む）

2 キャロットサービスの充実

(1) キャロットサービスの協力会員の確保と養成

住民参加型の福祉サービスを提供し、協力会員と依頼会員の啓発に努めた。平成25年5月より、町受託事業のファミリーサポートサービス事業を開始し、会員登録の増加があった。子どもの送迎、預かり、高齢者の家事援助、食事作り、買物支援が増えてきている。

ア　平成25年度依頼会員登録数

月	月登録者数	ファミリーサポート登録	キャロット登録		その他
		子育て支援	障がい者	高齢者	
4	5	4	0	1	0
5	5	4	1	0	0
6	9	8	0	1	0
7	9	8	0	1	0
8	8	4	0	4	0
9	11	8	0	3	0
10	14	6	1	7	0
11	5	3	0	2	0
12	12	7	1	4	0
1	10	8	0	2	0
2	7	4	0	3	0
3	13	10	1	2	0
合計	**108**	**74**	**4**	**30**	**0**

総登録人数　732人

イ　平成25年度協力会員登録数

月	月登録者数	子育て		障がい者	家事援助	その他
		協力	両方			
4	3	3	0	0	0	0
5	5	2	2	0	0	1
6	6	2	3	0	1	0
7	1	1	0	0	0	0
8	3	0	1	0	2	0
9	13	1	7	0	2	3
10	6	4	1	0	1	0
11	2	1	1	0	0	0
12	6	2	4	0	0	0
1	1	0	1	0	0	0
2	4	2	1	0	1	0
3	2	2	0	0	0	0
合計	**52**	**20**	**21**	**0**	**7**	**4**

協力会員登録者総数　94人

（キャロットサービス登録27人　ファミリーサポートサービス登録　67人）

３ 福祉教育の推進

(1) 福祉教育の充実

ア ボランティア協力校指定　　全校指定

福祉体験学習を全ての学校で、さらに実施できるよう学校側に周知していきたい。

	学　　校　　名
町社協指定	菊陽町立菊陽北小学校
	菊陽町立武蔵ヶ丘小学校
	菊陽町立菊陽中部小学校
	菊陽町立菊陽南小学校
	菊陽町立菊陽西小学校
	菊陽町立武蔵ヶ丘北小学校
	菊陽町立菊陽中学校
	菊陽町立武蔵ヶ丘中学校

(2) 子どもの福祉体験

ア ボランティア初心者体験学習

ジュニアボランティア等初心者体験学習は今後も推進していきたい。

講座名	開催日	学校名等	参加人数
視覚障がい、疑似体験 車いす体験	６月25日	中部小学校4年生	127
ボランティア講話	11月14日	南小学校5年生	7
点字、手話体験	11月26日	南小学校5年生	7
視覚障がい、疑似体験 車いす体験	12月10日	南小学校5年生	7
ボランティア講話	10月4日	西小学校4年生	123
点字、手話体験	10月17日	西小学校4年生	123
視覚障がい、疑似体験 車いす体験	11月7日	西小学校4年生	123
ジュニアボランティア事前学習	2月17日	武蔵ヶ丘中学校	142
ジュニアボランティア	2月25日	武蔵ヶ丘中学校	142
ジュニアボランティア事前学習	3月12日	菊陽中学校	270
ジュニアボランティア	3月14日	菊陽中学校	270

(3) ワークキャンプ

町内の福祉施設にて小中学生が、1泊2日宿泊ボランティア活動体験を実施した。

学校によって参加が多いところ、少ないところもあるので、学校側への理解をさらに深めていきたい。

開催日	開催場所	参加校	参加人数
7月23日～ 7月24日	きほう苑	菊陽北小学校	6
		菊陽中部小学校	5
8月8日～ 8月9日	サンライズヒル	武蔵ヶ丘北小学校	13
		武蔵ヶ丘小学校	7
8月5日～ 8月6日	熊本菊陽学園	菊陽中学校	10
		武蔵ヶ丘中学校	16
8月1日～ 8月2日	町社会福祉協議会	菊陽南小学校	12
		菊陽西小学校	10

Ⅲ　社会福祉協議会活動や地域住民による取組を積極的に情報発信していきます

１　情報発信の強化

(1)　社会福祉協議会ホームページの充実

今後も必要な情報が手に入りやすいホームページ作りを強化していく。平成２５年度に、町社会福祉協議会定款などをホームページ上に掲載した。

ア　ブログ月別閲覧数（平成２５年度集計）

月	件数	月	件数	月	件数	月	件数
4	2,726	7	2,886	10	1,307	1	615
5	2,482	8	1,805	11	467	2	713
6	2,794	9	1,456	12	1,356	3	943
						合　計	19,550

(2)　広報誌の充実

ア　広報ひばりの発行

発行回数　　年6回発行（ひばり117号～122号）

イ　広報委員会

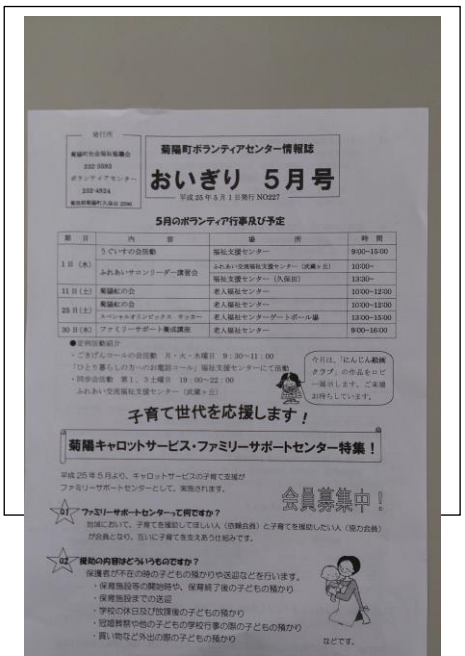
広報委員会の開催　計12回　　広報委員3人

２　ボランティア活動の周知啓発

(1)　ボランティアだより「おいぎり」の充実

ア　おいぎりの発行

年１２回発行している。現在回覧で全地区に配布しているが、数地区は全戸配布をお願いしてある。今後も全戸配布区を増やせるようにお願いしていきたい。



ボランティア情報誌　おいぎり

Ⅳ　安心した生活を送ることができるよう、福祉ニーズに対応したサービスを提供していきます

１　地域福祉事業の推進

(1)　敬老祝い金

区の敬老会にて 80 歳には敬老記念品バスタオル、88 歳以上は 1 人 3,000 円のお祝金交付

ア　記念品の配布　　80 歳　　234人

イ　祝い金の交付　　224人

（内訳 88 歳　101人　90 歳　91人　99 歳　6人　100 歳以上　26人　）

(2)　ふれあいサロン

地域の公民館を使ってふれあいいきいき活動を展開。町内で 28 ヵ所実施している。

昨年に引き続き、サロン校区連絡会を、違う小学校区のサロン開設区公民館で実際に体験する、体験型の会議形式で実施した。

ア　会議

NO	会議名称	開催日	開催内容
1	南・中部校区校区連絡会	10月23日	八久保サロンにて視察研修
2	武小・武北小校区連絡会	10月29日	古閑原サロンにて視察研修
3	西小校区連絡会	10月29日	下津久礼サロンにて視察研修
4	北小校区連絡会	11月5日	東ヶ丘サロンにて視察研修
5	ふれあいサロン全体会	3月5日	平成26年度の取組について
6	町介護予防サービス事業会議	3月20日	平成25年度評価・反省

サロン校区連絡会（古閑原）

ふれあいサロン講習会（10月）

口腔指導と子どもとの交流会（杉並台区）

転倒予防教室（八久保区）

イ　開催箇所、参加者等の実績

	開催地区	開　始 年月日	開催回数	25 年度 参加者	25 年度 ボランティア参加者	合　計	平均 参加者数
1	辛川	H.12.8	12	137	176	313	26．1
2	曲手	H.12.9	12	172	78	250	20．8
南小校区　小計			**24**	**309**	**254**	**563**	**23．5**
3	東部センター	H11.7.2	12	153	46	199	16．6
4	上津久礼	H.12.5.12	12	262	100	362	30．2
5	下津久礼	H.12.6.7	12	157	129	286	23．8
6	緑ヶ丘	H.15.11.26	12	133	60	193	16．1
7	宮ノ上	H24.4.5	11	291	98	389	35．4
中部小校区　小計			**59**	**996**	**433**	**1，429**	**24．2**
8	古閑原	H.12.4.18	11	121	60	181	16．5
9	入道水	H12.4.27	12	126	95	221	18．4
10	柳水	H.11.7.19	12	174	73	247	20．6
11	光団地	H.11.6.30	12	103	45	148	12．3
12	馬場	H.12.5.9	12	207	96	303	25．3
13	鉄砲小路	H.12.4.27	11	122	32	154	14．0
14	駅前	H.12.6.13	12	174	38	212	17．7
15	新町	H.12.5.12	10	172	55	227	22．7
北小校区　小計			**92**	**1，199**	**494**	**1，693**	**18．4**
16	三里木	H.12.4.10	12	127	68	195	16．3
17	青葉台	H.12.5.23	12	142	118	260	21．7
18	東ヶ丘	H.13.8.29	12	187	78	265	22．1
19	沖野	H17.4.21	12	184	91	275	22．9
20	三里木北	H.18.6.27	12	126	46	172	14．3
21	杉並台	H24.7.18	12	218	105	323	26．9
西小校区　小計			**72**	**984**	**506**	**1，490**	**20．7**
22	7 町 内	H.11.2.24	12	235	109	344	28．7
23	向 陽 台	H.11.4.28	12	125	36	161	13．4
24	花　立	H.11.7.12	12	123	56	179	14．9
25	南八久保	H.11.4.22	11	126	82	208	18．9
26	八 久 保	H.13.4.29	12	144	121	265	22．1
27	2 町内	H21.5.13	10	102	54	156	15．6
28	6 町内	H17.5.27	10	149	60	209	20．9
武小・武北小校区　小計			**79**	**1，004**	**518**	**1，522**	**19．3**
累　　計			**326**	**4，492**	**2，205**	**6，697**	**20．5**

ウ　子ども会、保育園児との交流会

地区名	時期	子ども参加者
鉄砲小路	8月　12月	27人
東部町民センター	7月	保育園児交流
光団地	8月	10人
柳水	8月	3人
花立	8月	18人
上津久礼	8月	15人
武蔵ヶ丘7町内	7月	保育園児交流

エ　高齢者レクリエーションリーダー講習会の開催

サロン活動のボランティアリーダー講習会を開催。レクリエーション講習は、6地区の公民館にて、講習会を開催した。

実施月	実施日	参加人数（西部＋福祉支援センター）	講座名	講座内容
4月	4月3日	48（19＋29）	かぶと飾りちぎり絵	色紙に菖蒲の花とかぶとを、ちぎり絵にした
5月	5月1日	48（15＋33）	陶玉ペンダント作り	以前にも作成した陶玉をペンダントにした
	5月10日	21	新町公民館	ストレッチ　リズム遊び他
6月	6月5日	55（19＋36）	陶器のペンダント作り	オーブン粘土を使ってブローチの作成
	6月10日	24	下津久礼公民館	ストレッチ　リズム遊び他
7月	7月3日	42（17＋25）	ぬりえカレンダー	シクラメンと妖精のかわいいデザインでぬりえ作成
8月	8月7日	62（22＋40）	うさぎタペストリー	細かい作業が多いが、かわいいうさぎを作成した
9月	9月4日	48（16＋32）	脳トレワーク	簡単な計算、言葉さがし、新聞紙パズルなど
	9月27日	18	南八久保公民館	ストレッチ　リズム遊び他
10月	10月2日	52（20＋32）	クリスマスリース	食品トレイを使ったシンプルリース作り
11月	11月6日	50（20＋30）	ぬりえカレンダー	お地蔵様のデザインぬりえ
	11月21日	18	緑ヶ丘公民館	ストレッチ　リズム遊び他
12月	12月4日	51（15＋36）	干支タペストリー	フェルトを使った干支の飾りつくり
	12月5日	38	宮ノ上公民館	ストレッチ　リズム遊び
1月	1月8日	44（11＋33）	吊るし雛風飾り	短冊形の吊るし雛をイメージした飾り材料は千代紙で作成した
	1月20日	19	曲手公民館	ストレッチ　リズム遊び他
2月	2月5日	59（22＋37）	段ボール鍋敷き	段ボールに麻ひもを巻いた鍋敷き作り
3月	3月5日	44	和紙で箸置き等	簡単な小物つくり

オ　グループ支援事業

サロン指導者派遣・高齢者講習会指導者を派遣している。

(3) 介護者のつどい

介護されている人のリフレッシュや仲間作り交流会として実施。広報等での周知を図り、介護者のつどいと介護教室の参加者増加に努めたい。

	開　催　日	内　　容	参加人数
	11月21日	平山温泉　恵荘（山鹿市）	6人
	2月14日	小天温泉　那古井館（玉名市天水）	7人
延べ人数　13人　実人数9人			

(4) 介護教室

介護技術や知識習得の介護教室を実施した。

	開　催　日	実　施　内　容	参加人数
	6月13日	介護老人保健施設についての説明、施設見学	9人
	9月13日	グループホーム、有料老人ホームについての説明、施設見学	13人
	12月12日	地域密着型特別養護老人ホーム、地域包括支援センター、社会福祉協議会の事業紹介	30人
	3月13日	町内の有料老人ホーム、菊陽町地域包括支援センター、町社会福祉協議会事業紹介	14人
延べ人数　66名　実人数45名			

(5) 子ども会育成連絡協議会・単位子ども会支援

町子ども会育成連絡協議会と単位子ども会へ助成金を交付した。
36単位子ども会

(6) 一日父親母親バス旅行

小学校夏休み期間に、宿泊キャンプ、9月に日帰り旅行を計画し、ひとり親世帯同士の交流を深めた。

開催日	内　容	参加者数
7月27日～7月28日	風の里キャンプ場（西原村）	2世帯　5人
9月21日	グリーンランド（荒尾市）	12世帯　39人

(7) ノーソンの実施

平成21年より実施。平成25年度は馬場区の畑で収穫を実施した。
参加者は、地域住民、町内のひとり親世帯、障がい者団体、同歩会（ボランティアグループ）、民生委員、子育てサークルHUGHUG等に参加していただいた。

開催日	内　容	参加者数
6月22日	からいもの苗付け	43人
11月2日	からいも収穫（いもの天ぷら昼食交流）	69人

ノーソン（いもの収穫）

一日父親母親バス旅行（キャンプ）

(8) キャロットサービス事業

ア　平成25年度キャロットサービス事業実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
【子育て中の支援】													
病気の子どもの援助								1					1
子育て中の家事援助													0
出産前後の家事援助								8	12	1			21
その他													0
小計								**9**	**12**	**1**			**22**
【高齢者・障がい者支援】													
家事援助	28	14	16	18	16	23	26	30	31	30	32	38	302
買物	3	2	9	6	7	4		2	2		2		37
買物・家事援助	11	16	6	5	10	7	4	4	4	4	3	5	79
身体介護・見守り													
ゴミだし	2		5	3	4	4	6	5	2	2	2	2	37
カット（散髪）			2										2
薬とり			1										1
犬の世話（散歩等）	49	53	49	53	55	55	59	58	59	57	54	46	647
その他		5	5	2		2	1	10	16	5	6	3	55
小計	**93**	**90**	**93**	**87**	**92**	**95**	**96**	**109**	**114**	**98**	**99**	**94**	**1,160**
合計	**93**	**90**	**93**	**87**	**92**	**95**	**96**	**118**	**126**	**99**	**99**	**94**	**1,182**

イ　平成25年度ファミリーサポートサービス事業実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
【活動内容】													
保育施設等、学童の登園前の預かり	12	13	16	10	3	18	18	19	12	14	16	11	162
保育施設等の保育終了後の子ども預かり	4	9	10	10	6	8	13	13	13	8	5	17	116
保育施設等、学校までの送り													
保育施設等、学校までの迎え	1	7	10	26	25	23	30	28	20	34	47	33	284
学童保育終了後の預かり		2	1	2		1	1	1	1	1	1		11
学校放課後の子どもの預かり				3		15	18	21	6	20	16	19	118
冠婚葬祭、その他学校行事等の援助		1	2	1		1	1						6
保護者外出の場合の援助	3	5	4	10	6	9	7	5	13	9	15	6	92
保育施設、学校等休み時の預かり			1	2	6		1			3		4	17
保護者短時間、臨時的就労の援助			2	3	1	3	4	4	7	4	4	6	38
子どもの習い事等の送迎				1			3	2	2	2			10
保護者病気時その他急用の援助								6	4	1			11
その他													
合計	**20**	**37**	**46**	**68**	**47**	**78**	**96**	**99**	**78**	**96**	**104**	**96**	**865**
延べ利用人数		**46**	**64**	**110**	**69**	**100**	**127**	**161**	**119**	**113**	**169**	**119**	**1,197**
延べ利用時間		**45.0**	**63.5**	**120.5**	**48.0**	**124.5**	**151.0**	**181.5**	**145.5**	**149.5**	**198.5**	**190.0**	**1,417.5**

ウ　平成25年度キャロットサービス、ファミリーサポートサービス養成講座
会員の新規発掘を目的として、養成講座を実施した。

NO	実施日	講座名	講師	時間数	参加者数
【前期講座】					
1	5 月 30 日　9 時～	心の発達とその問題	北村聡一郎	2	16
2	5 月 30 日　11 時～	子どもの安全・事故	菊池広域連合本部	1	16
3	5 月 30 日　13 時～	保育の心	實取智子	1	16
4	5 月 30 日　14 時～	子どもの遊び	小林恵子	1	16
5	5 月 30 日　15 時～	子どもの世話	吉野恵子	1	16
6	6 月 28 日　9 時～	保育サービスを提供するために	社協	1	18
7	6 月 28 日　10 時～	小児看護の基礎知識	菊陽町	1	19
8	6 月 28 日　11 時～	子供の栄養と食生活	神野志保	1	19
【後期講座】		（時間数小計　／　参加者数小計）		9	136
9	10 月 12 日　13 時～	小児看護の基礎知識	中本さおり	1	8
10	10 月 12 日　14 時～	子どもの身体の発育と発達	島津智之	2	19
11	10 月 15 日　9 時～	心の発達とその問題	北村聡一郎	2	7
12	10 月 15 日　11 時～	保育サービスを提供するために	社協	1	9
13	10 月 25 日　13 時～	保育の心	山辺喜美子	1	8
14	10 月 25 日　14 時～	子どもの世話	竹本二美栄	1	8
15	10 月 25 日　15 時～	子どもの遊び	中島てるみ	1	7
16	11 月 12 日　10 時～	子どもの栄養と食生活	神野志保	1	8
17	11 月 12 日　11 時～	子どもの安全・事故	菊池広域連合本部	1	8
		（時間数小計　／　参加者数小計）		11	82
平成25年度養成講座		（時間数合計　／　参加者数合計）		20	218

エ　平成25年度キャロットサービス、ファミリーサポートサービス講演会・交流会
会員相互の交流を図るために、講演会及び交流会を実施した。

NO	実　施　日	内　容	講　師	参加者数
1	4 月 26 日　10 時 30 分～	地域での子育てについて ファミリーサポートについて	府内千富美	13
2	8 月 26 日　10 時～	接遇について	山本直子	18
3	12 月 7 日　10 時 30 分～	飾り巻き寿司をつくろう！	中村あゆみ	12
			参加者数合計	43

(9)　健康ウォーク

平成25年度は、雨天のため福祉のつどいと同時開催を実施した。

ア　開催報告

開催日	場所	協力団体	内容	参加者数
１１月３０日（土）	菊陽町老人福祉センターロビー	菊陽町民生委員児童委員協議会 菊陽町ボランティア連絡協議会 菊陽町老人クラブ連合会	屋内ウォークラリー輪投げ　パズル 竹とんぼ　魚釣り 足湯	約100人

2 ボランティアセンターの機能強化

(1) ボランティアセンターの強化

ア ボランティア活動者数・グループ数実績

若い世代の登録が少ないことが課題である。

25年度活動者総数	
登録グループ者総数	1，252人
登録グループ数	32グループ
個人登録数	5人

イ ボランティア活動相談件数 （単位：件）

	月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ジュニアボランティア	点字	小学校							1	1					4
		中学校											1	1	
	車いす	小学校			1					1	1				5
		中学校											1	1	
	視覚	小学校			1					1	1				5
		中学校											1	1	
	疑似	小学校			1					1	1				5
		中学校											1	1	
	手話	中学校							1	1			1	1	4
	HUG	中学校											1	1	2
小　計			0	0	3	0	0	2	2	5	3	0	6	6	25
施設訪問			1		1	1	2			1	2				8
イベント				2				1	1						4
学習サポーター				1											1
身障総会手伝い				1											1
ボランティア指導														1	1
施設外出援助															0
町生涯学習課															0
サロン			1	1											2
小　計			2	5	1	1	2	1	1	1	2	0	0	1	17
合　計			2	5	4	1	2	1	3	6	5	0	6	7	42

ウ ボランティア活動紹介人数 （単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点字							1	1			1	1	4
手話							2	2			2	2	8
車いす			4					4			4	4	16
視覚			6					5			3	3	17
疑似			8					8			8	8	32
HUG											4	3	7
施設慰問		3	8		12								23
身障総会手伝い		2											2
イベント		3				3	1						7
サロン		5		6									11
合　計	0	13	26	6	12	3	4	20	0	0	22	21	127

エ　菊陽町ボランティア大会への協力　（菊陽町ボランティア連絡協議会主催）

開催日	平成26年2月23日（日）
場所	菊陽町老人福祉センター
内容	各ボランティアグループによる活動発表会 おもてなし交流 ボランティアフェスティバルPR
参加者	70人

(2)　視聴覚障がい者への音声訳録音テープの発送

音声訳グループ、うぐいすの会によるボランティア活動を支援している。

開催日数	開催場所	ボランティア活動状況	活動　内容
16日	福祉支援センター	延べ人数93人	広報きくよう 議会だより 消防広報「まとい」 大津菊陽水道企業団
		発送回数	
		12回	

(3)　ごきげんコール

一人暮らし高齢者に週に1回ボランティアの皆さまが電話をして安否確認をする活動

ボランティア活動実施日	150日
利用者数	46人
ボランティア活動者数	24人

3　相談支援体制の整備

(1)　地域福祉相談業務の充実

ア　要援護者高齢者在宅福祉サービス事業（通称：高齢者相談センター）

町内に住むおおむね65歳以上要援護高齢者及び、要援護となる可能性の高い高齢者を対象として、福祉サービスの利用に関する情報の提供、利用についての啓発、必要性の調査、利用申請手続きの代行等を行っている。

毎週木曜日午前中に武蔵ヶ丘ショッピングセンター内で健康・福祉相談を開設している。

イ　相談件数

相談実人員（人）	766	（訪問708）
相談延べ人員（人）	1，207	（訪問1，006）
延べ件数（件）	1，207	（訪問1，006）

ウ　相談・サービス適用調整等活動

相談内容	電　話	来　所	訪　問	その他	合　計	申請数	サービス適用数
介護・日常生活に関する相談	34	4	42	0	**80**		
サービスの利用に関する相談	27	4	120	0	**151**	98	92
医療に関する相談	5	0	8	1	**14**		
所得・家庭に関する相談	5	1	16	0	**22**		
家庭訪問	20	80	724	0	**824**		
その他	75	3	97	0	**175**		
計	166	92	1,007	1	**1,266**		

エ　相談者の内訳

	年間延人数（人）		年間延人数（人）
本　人	1，064	入所入院施設	4
家　族	62	居宅介護機関	25
関係者	42	行政機関	10
合　計			**1，207**

(2) ふれあい総合相談所

相談総数は減少傾向にある。一方で相談内容は複雑なケースが多くなりつつあり、何度も相談に来られる人も少なくない。

ア　委員の紹介

①　心配ごと相談　　住民の日常生活の困りごとの相談を受け付けた。　　相談員　7人
民生委員児童委員、行政相談員、身体障害者相談員、学識者
心配ごと相談員定例会　6回実施

②　専門相談

法律相談	弁護士	2人	月2回開設
		1人	偶数月5回開設
税金相談	税理士	1人	月1回開設
財産相続相談	行政書士	2人	月2回開設
登記・法律相談	司法書士	3人	偶数月1回開設 奇数月2回開設

イ　開催時間

正午から受付開始　午後1時から午後3時まで
心配ごと相談は、午前10時から正午まで（土曜日）

ウ　開催場所

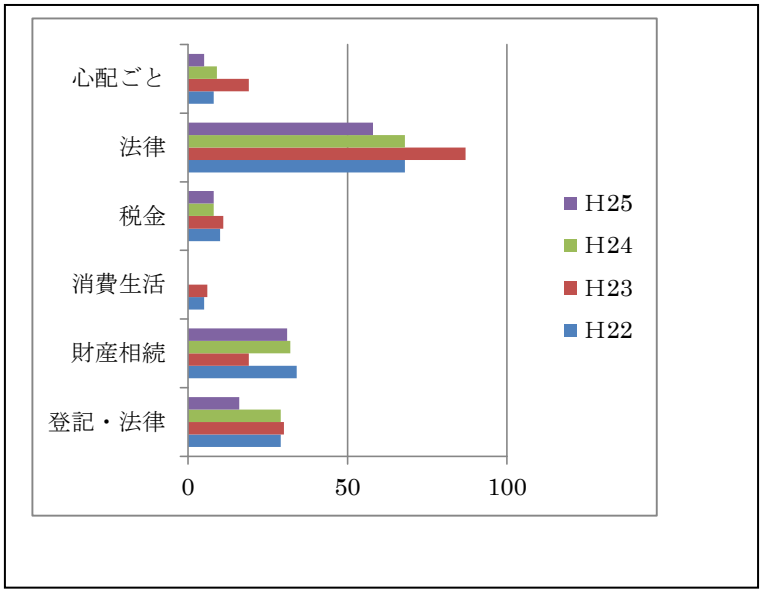
菊陽町老人福祉センター、ふれあい交流・福祉支援センター2ヶ所で開催
（町の広報誌及び広報ひばりに相談日を掲載）

エ　平成25年度の相談実績　　（単位：件）

相談の種類		開催日数(日)	相談実績件数	
			老人福祉センター	ふれあい交流 福祉支援センター
一般相談	心配ごと相談	37日	3	2
	行政相談		0	0
専門相談	法律相談	29日	37	21
	税金相談	12日	8	
	財産相続相談	24日	11	20
	登記・法律相談	19日	5	11
合　　計			64	54
累　　計			118	

オ　過去4年間の実績　　（単位：件）

	H22	H23	H24	H25
心配ごと	8	19	9	5
法律	68	87	68	58
税金	10	11	8	8
消費生活	5	6		
財産相続	34	19	32	31
登記・法律	29	30	29	16
計	154	172	146	118



専門相談員
心配ごと相談員

カ　相談内訳

ここ数年、相談件数は減少傾向にある。要因として、自己破産や多重債務については、法テラスや法律事務所など民間の相談機関を利用している可能性が挙げられる。また、相談内容としては、相続や財産に関することは例年通りの件数だが、平成25年度は特に、家・土地の問題に関する相談が多かった。

①　相談の種類別　　（単位：件）

相談内容	件数	相談内容	件数
相続	26	金銭トラブル	7
離婚	9	職場とのトラブル	1
債務・借金問題	2	ネット上のトラブル	0
家・土地問題	10	多重債務	2
税金	8	自己破産	0
交通事故	3	クーリングオフ	0
遺言	3	サラ金問題	0
地域活動における悩み・トラブル	5	その他	9
告訴されたため相談	3	・医療事故について	（1）
地域内での苦情	1	・自作契約書の確認依頼	（1）
贈与	0	・コーチによる暴力	（1）
DV	0	・相談内容記載拒否	（5）
連帯保証人	1	・部活中の事故	（1）
家・土地の名義変更	2		
生活費の問題	0		
登記問題	3	計	118件
家族問題	8		
保健・保険金支払い	0		
財産	15		

(3)　地域福祉権利擁護事業

認知症・知的障がい者・精神障がい者で、金銭管理ができない人へ通帳や印鑑を預かり、生活支援サービス等を実施している。平成25年度利用者は利用解約が4件発生したが、18人であった。今後の課題として、引き続き生活支援員の増員・養成を行う必要がある。

ア　利用者数、生活支援員数

利　用　者	18人
生活支援員	5人

（平成26年3月31日現在）

イ 相談援助件数 （単位:件）

月	内　容	件数	合計	月	内　容	件数	合計
4	問合せ　初回相談	3	145	10	問合せ　初回相談	2	134
	相談援助	142			相談援助	132	
5	問合せ　初回相談	1	140	11	問合せ　初回相談	2	148
	相談援助	139			相談援助	146	
6	問合せ　初回相談	3	193	12	問合せ　初回相談	0	115
	相談援助	190			相談援助	115	
7	問合せ　初回相談	4	165	1	問合せ　初回相談	1	169
	相談援助	161			相談援助	168	
8	問合せ　初回相談	8	112	2	問合せ　初回相談	0	117
	相談援助	104			相談援助	117	
9	問合せ　初回相談	2	99	3	問合せ　初回相談	2	143
	相談援助	97			相談援助	141	
				合計	問合せ　初回相談	28	1,680
					相談援助	1,652	

(4) 福祉金庫貸付公益事業

連帯保証人が立てられず少額の貸付となるケースが多い。また、生活保護の申請を行うも、保護が決定するまでの生活費がないという相談や、若年層の相談者も多くなっている。

ア 貸付実績

貸付金額	延利用者数	実利用者数
360，000円	20人	17人

〇相談のみで貸付にならなかった件数　25件

イ 各種見舞いの実施

低所得の方にお見舞金を交付する低所得者見舞いを実施した。

交付金額	交付者数
40，000円	4人

(5) 高額療養費資金貸付公益事業

限度額適用認定証の利用が増加したため平成25年度の利用はなかった。

ア 相談件数　4件

貸付要件に該当せず利用に至らなかった。

(6) 県生活福祉資金貸付事業

相談件数は、来所・電話での相談を合わせると、年間60件を超えたが貸付要件に満たないものが多かった。

ア 貸付件数

貸付決定金額	貸付決定者	貸付種類
700，866円	4人	教育支援資金（1人） 福祉資金（3人）

イ 生活福祉資金償還促進会

長期にわたり償還のない者、または償還期間に入るも償還がない者に対して、生活状況確認を含めて指導を行うことを目的として実施した。

開催日				
3月27日	対象者	8人	事前連絡	4人
	参加者	1人	訪問	1人

生活状況の確認を行い状況に応じて対応した。返済計画を立て4月より返済予定。

(7) 介護器具貸出事業

ア　利用実績　　99件貸付

前年比に対し増加した。事業周知を今後も図りたい。

器具名	件数	器具名	件数
車いす	51	四点杖	5
ベッド	7	歩行器	2
シャワーチェア	11	その他	6
ポータブルトイレ	17		

4　各種イベントの充実

(1) 福祉のつどい

ア　開催報告

日時	平成25年11月30日（土）午後1時30分～
場所	菊陽町福祉支援センター
参加者数	約200人
社協紹介DVD上映	社協事業についてのDVDを上映した
福祉講演会	できることをしてみたら・・・県営「山の上団地」でのとりくみ 熊本市大江校区社会福祉協議会　鳥崎一郎
社会福祉表彰	福祉功労者表彰 2期6年以上で退任された民生委員・児童委員　19人 感謝状　　1人
作品展示	○28地区ふれあいサロン作品　○老人クラブ連合会各作品 ○つくしんぼ　○東ヶ丘フランス刺繍今村教室 ○サンライズヒル　○個人様作品　○ほっとステーション武蔵ヶ丘
お楽しみ抽選会	協賛団体 菊陽町ボランティア連絡協議会　　シルバーバック JA菊池　菊陽町商工会飲食業組合　大谷の湯（菊陽苑） さんふれあ　菊陽町母子会　町社会福祉協議会
昼食交流	防災ボランティアすぎなみによるだご汁とハイゼックス米

(2) ジョイントコンサート

平成25年11月30日（土）10時30分より町内福祉施設利用者や、町内音楽グループによる音楽発表会、ジョイントコンサートを開催した。出演途中に社会福祉協議会職員によるレクリエーションを実施した。

出演NO	出演グループ・団体名
1	きくよう虹の会
2	ベアボーン
3	マザーズ
4	二輪草
5	サンライズヒルフレッシュシンガーズ
6	特別養護老人ホームきほう苑
7	武蔵ヶ丘7町内ボランティア「ほほえみの会」
8	きくよう地域生活支援センター
9	熊本菊陽学園
10	ほっとバンド
11	GO！GO！6162

福祉講演会

ジョイントコンサート（ほほえみの会）

(3) すぎなみフェスタへの参加

平成25年度もすぎなみフェスタへ参加し、町社会福祉協議会の周知や福祉団体への支援を行った。

日時	平成25年11月9日（土）午前9時～
場所	菊陽杉並木公園さんさんスポーツ広場
参加福祉団体	・たゆやか　・菊陽町婦人会　・菊陽町老人クラブ連合会 ・つくしんぼ　・菊陽町母子会　・菊陽町ボランティア連絡協議会 ・きくよう虹の会　・手作りサークルHUGHUG　・熊本菊陽学園 ・つどいの広場利用者
社協出店内容	・芋棒販売　・福祉服リサイクル販売　・ふれあいサロン写真展 ・子育て応援子ども手作り作品ワークショップ
会議	7月3日　10月21日
その他	民生委員児童委員ほかボランティアの皆さまによる赤い羽根共同募金街頭募金を実施させていただきました

すぎなみフェスタ　赤い羽根共同募金街頭募金

戦没者追悼式

(4) 戦没者追悼式

2年に一度町遺族会と協働して実施している。

平成25年7月15日　参加者数　約120人

(5) その他イベント

ア　第29回くまもと車いすふれあいジョギング大会　（県障害者スポーツ文化協会共催）

菊陽町内の参加者を増やしていくことが課題である。

①開催内容

開催日	開催場所	参加人数	内　容
10月19日	菊陽杉並木公園 さんさん	166人 （県内施設、 在宅の方）	車いすロード1k・3kレース 防災ボランティアによる炊き出し ランナー　69人 ボランティア　81人 熊本障がい者スポーツ 指導者協会　16人

②ボランティア

九州中央リハビリテーション学院　熊本総合医療リハビリテーション学院
熊本リハビリテーション病院、県振興局、町行政　防災ボランティア菊陽すぎなみ
熊本県理学療法士会

③会議

車いすジョギング実行委員会　　平成25年7月16日　平成25年10月7日
平成26年1月17日

イ　ボランティアフェスティバル菊池開催に伴う会議

平成26年度に菊池圏域においてボランティアフェスティバル菊池開催に伴う準備のため、関係者、担当職員で会議打合せを実施した。

NO	日付	会議	参加者数
1	8月23日	打合せ（合志市社協）	9
2	9月24日	打合せ(菊池市社協泗水支所)	9
3	10月5日、6日	ボランティアフェスティバル八代	町内から約30人参加
4	12月11日	ボランティアフェスティバル八代実行委員会参加	菊陽から1人参加
5	12月26日	打合せ(菊池市社協本所)	6
6	1月16日	打合せ（菊池市泗水支所）	12
7	2月6日	打合せ（菊池市社協本所）	9
8	2月26日	ボランティアフェスティバル菊池準備委員会	27

ウ　菊陽町生涯学習課主催ボランティア体験支援

12月25日に町内の子どもたちが、地域の高齢者宅4件へ訪問し、ボランティア活動を実施した。

エ　菊陽町夏祭り福祉団体支援

8月3日に開催された、菊陽町夏祭りにおける福祉団体出店支援を行った。

会議報告	福祉団体出店者
夏祭り打合せ　6月19日 出店者会議　7月5日	同歩会 手作りサークルHUGHUG やすらぎハウス

オ　その他のボランティア活動報告

菊陽虹の会支援や福祉施設へ年末見舞いの千羽鶴贈呈
ボランティア活動、光団地区では、ボランティア有志がクリーン活動を行っている。

毎月10日	クリーン活動 杉並木通り周辺清掃活動 毎回ゴミ袋3つ分以上はゴミがある	光団地区住 月平均3人の

５ 高齢者の在宅支援サービスの充実

(1) 配食見守りネットワーク事業

月曜から金曜に昼食・夕食を作り、１食400円で配達している。主に一人暮らしや、高齢者のみの世帯に対し安否確認を行いながら実施している。ミニデイサービス利用者に給食を配食している。配食サービスを利用してから体調が良くなった、数値がよくなった、配食が届く時間になると元気が出るという声を多くいただいている。

ア 会議

食品安全衛生講習会 平成25年7月24日

イ 横だしサービスの実施

平成26年1月27日から、ほっとステーション武蔵ヶ丘において毎週月曜日に、配食の弁当と総菜パックの販売を開始した。配食見守りネットワーク事業には該当しないが、バランスの良い食事をとりたいという地域住民に利用していただいている。

ウ 配食サービス発行紙「はなごしょう」の発送

エ 利用実績

	実施回数(人)												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	21	256
昼食	365	412	449	522	454	316	369	352	365	398	372	328	4,702
夕食	1,164	1,187	984	1,144	1,007	996	1,046	914	846	748	750	828	11,614
デイ昼食	403	392	351	405	368	379	403	384	322	359	364	388	4,518
月間食数	1,932	1,991	1,784	2,071	1,829	1,691	1,818	1,650	1,533	1,505	1,486	1,544	20,834
平均食数(／日)	88	87	89	90	83	81	79	79	77	75	74	74	81
	配食利用実人数（人）												
実施人数	103	102	108	107	108	98	95	91	90	84	84	83	1,153

今日の献立

平成二六年五月十四日(水)

一、御飯
一、魚の照り焼き
一、南瓜の含め煮
一、マカロニサラダ
一、果物
一、すまし汁
一、漬物

花の綺麗な季節です。農業公園ではバラ祭りも始まったようですね。

お届けしたお弁当は、二時間以内にお召し上がりください。

菊陽町社会福祉協議会
配食サービス 電話(２３２)８６３５

(2) 介護予防生きがい・運動教室通所事業（ミニデイサービス）

在宅で閉じこもりがちな高齢者の人を対象とした趣味生きがい活動、レクリエーション活動、介護予防、日常動作訓練などを行う。

平成12年4月にスタートしたミニデイサービスは、15年目を迎えて活動している。介護にかからず元気で歳を重ねられる努力を日々されている。ストレッチ体操や筋力トレーニング、頭の体操、ゲームなどで午後3時まで過ごす体力を保持し、友達を増やして楽しいおしゃべりや笑いで一日楽しまれている。

平成26年度から、利用者主体の活動を強化し、認知症予防プログラムを取り入れて、できるだけ長く心身ともに元気で過ごせられるような活動をしていきたい。

ア　開催時間

月曜から金曜まで町民センター等にて午前10時から午後3時まで

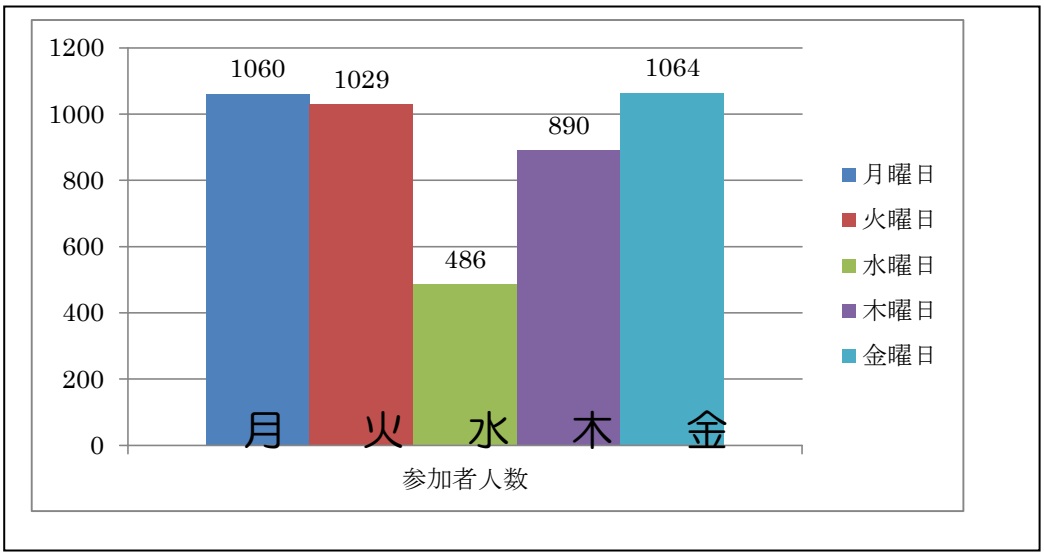
イ　実施内容

生きがい活動・健康活動・趣味活動、運動機能訓練、栄養指導、口腔ケア等

ミニデイ新聞の発行

ウ　利用実績

開催曜日	開催場所	参加者人数	開催日数	見学者	平均参加者　人数
月曜日	福祉支援センター	1，060	52	4	20．38
火曜日	ふれあい交流 福祉支援センター	1，029	52	7	19．79
水曜日	東部町民センター	486	52	2	9．35
木曜日	福祉支援センター	890	52	12	17．12
金曜日	三里木町民センター	1，064	52	1	20．46
総合計		**4，529 （内26人は 見学者）**	**260**	**26**	**17．42**



(3) 訪問介護事業

安全に留意した援助、他機関との連携を密にした担当者会議を実施できた。現在、認知症の利用者が19人、一人暮らし高齢者の利用者が44人おられる。

ア　介護ケアプランの作成
イ　担当者会議への出席
ウ　研修会への参加
エ　実績状況（介護度別利用者分布、過去４年間の経緯、年齢別利用者分布）

平成25年度中の登録者　要介護別利用者の分布	
要支援1	14
要支援2	20
要介護1	32
要介護2	26
要介護3	12
要介護4	5
要介護5	3
計	112

過去４年間の登録者

	H22	H23	H24	H25
要支援1	11	10	6	14
要支援2	18	17	30	20
要介護1	17	20	27	32
要介護2	11	13	21	26
要介護3	11	6	11	12
要介護4	6	4	3	5
要介護5	2	2	1	3
その他	17	0	0	0
計	93	72	99	112

年齢別利用者分布

項目	25 年 利用者数計	要 支援 1	要 支援 2	要 介護 1	要 介護2	要 介護3	要 介護4	要 介護5	男	女
64 歳以下	4	0	1	0	1	2	0	0	1	3
65 歳以上 69 歳	3	0	0	0	3	0	0	0	2	1
70 歳以上 74 歳	10	1	4	3	2	0	0	0	2	8
75 歳以上 79 歳	17	3	4	4	3	1	2	0	9	8
80 歳以上 84 歳	30	0	5	13	8	4	0	0	9	21
85 歳以上 89 歳	31	9	3	10	4	2	2	1	9	22
90 歳以上	17	1	3	2	5	3	1	2	4	13
合計	**112**	**14**	**20**	**32**	**26**	**12**	**5**	**3**	**36**	**76**

菊陽町社会福祉協議会訪問介護実績集計表

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
新規利用者数	3	6	4	6	6	3	1	1	1	3	9	4	47
実利用者数	66	68	73	74	78	78	76	72	69	65	71	72	862
中止者数	3	2	2	16	0	0	1	3	1	4	5	2	39
延べ利用回数	797	796	878	997	998	990	992	959	854	717	804	992	10，774
延べ利用日数	713	712	772	878	903	879	870	825	759	659	706	821	9，497
平均利用回数/1人	12.1	11.7	12.0	13.5	12.8	12.7	13.1	13.3	12.4	11.0	11.3	13.8	12.5
平均利用日数/1人	10．8	10．5	10.6	11.9	11.6	11.3	11.4	11.5	11.0	10.1	9.9	11.4	11.0

介護度別		延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実
	要支援1	33	6	44	7	34	7	37	8	34	8	32	8	32	8	29	7	28	7	29	8	30	9	39	10	401	93
	要支援2	114	21	110	18	97	19	106	17	108	18	116	19	125	19	116	19	107	18	106	18	101	18	103	16	1,309	220
	要介護1	246	17	261	20	271	22	326	20	330	21	322	21	300	20	264	17	226	18	213	14	218	17	232	18	3,209	225
	要介護2	220	14	260	17	292	18	322	22	273	22	260	20	267	21	283	21	280	18	199	16	284	18	313	18	3,253	225
	要介護3	151	6	107	5	119	4	125	4	140	5	153	6	149	5	168	5	163	5	115	6	123	6	163	6	1,676	63
	要介護4	5	1	14	1	61	2	80	2	113	4	107	4	119	3	99	3	50	3	55	3	48	3	142	4	893	33
	要介護5	28	1			4	1	1	1																	33	3

※延 （延べ回数） 延べ利用者回（日）数を要介護度毎にカウント 要介護度が変更の場合は、その日にあった要介護度でカウント

(4) 訪問入浴介護事業

移動入浴車でご自宅へ訪問し、浴室での入浴が困難な人に対して、快適な入浴サービスを行う。

平成25年度は、利用者様だけでなく、介護されているご家族へのケアも心がけてサービスを実施しました。利用者様への処置の仕方やご家族の負担軽減が少しでもできるように提案して、ご利用者様、ご家族に大変喜んでいただけた。

ア　担当者会議の開催

イ　登録者実績（単位：人）

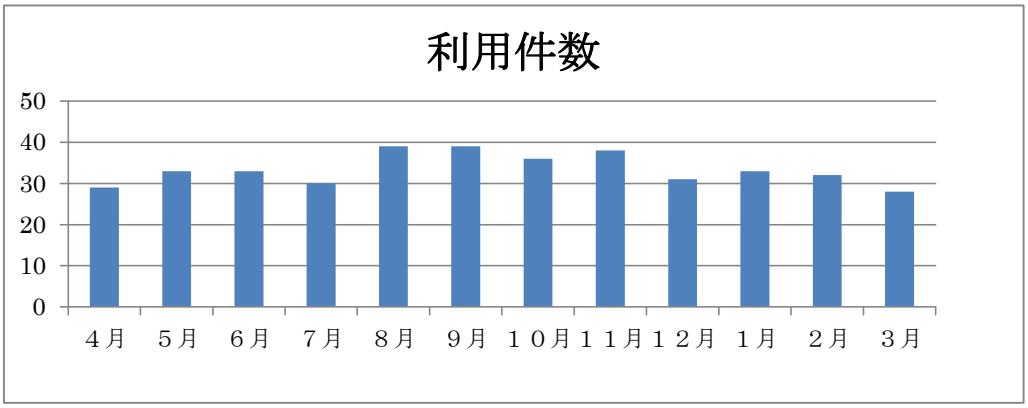
要支援1	0
要支援2	0
要介護1	0
要介護2	1
要介護3	0
要介護4	2
要介護5	5
計	**8**

ウ　入浴実績（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	5	5	6	5	6	7	6	7	6	6	6	6	71
入浴	29	33	33	30	39	39	36	38	31	33	32	28	401
清拭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
件数	29	33	33	30	39	39	36	38	31	33	32	28	401

エ　身体障がい者関係入浴人員（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



(5) 居宅介護支援事業

利用者の立場に立ったケアプラン作成に取り組み、時期に沿ったプランのモニタリング、サービス担当者会議の実施を行った。要介護1、要介護2の利用者数が伸びを見せている。現在認知症の実利用者が19人、一人暮らし高齢者の実利用者が11人おられる。

ア　研修会への参加

① 熊本県介護支援専門員協会菊池支部総会　平成25年5月25日
② 介護サービス事業者等集団指導　平成25年6月21日
③ 介護支援専門員、介護事業所等説明会　平成25年7月18日
④ 認知症高齢者セミナー　平成25年7月26日、8月30日、10月18日
⑤ 介護支援専門員等研修会及びキャラバンメイト
フォローアップ研修会　平成26年1月10日

イ　会議の実施

① 困難事例支援検討会議　平成25年5月7日、6月6日
② 有料老人ホームについて　平成25年7月8日
③ 障害者自立支援法について　平成25年8月8日
④ せん妄、認知症について　平成25年9月6日
⑤ プライバシー、個人情報について　平成25年10月7日
⑥ 介護サービスマニュアル、苦情相談対応　平成25年11月7日
⑦ 認知症高齢者セミナー報告会　平成25年12月6日

ウ　介護保険説明会

① 三里木サロン　平成25年11月11日

エ　実施状況　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援1	12	13	13	12	12	13	12	12	11	13	12	11	146	12.16
要支援2	10	8	10	9	10	10	10	10	9	9	8	8	111	9.25
人数	**22**	**21**	**23**	**21**	**22**	**23**	**22**	**22**	**20**	**22**	**20**	**19**	**257**	**21.41**
要介護　1	28	27	30	31	28	33	31	31	33	32	33	32	369	30.75
要介護　2	18	21	20	19	18	16	16	16	17	17	17	17	212	17.67
要介護　3	14	14	15	15	16	17	18	17	16	16	14	15	187	15.58
要介護　4	6	6	6	5	6	6	6	6	7	6	6	6	72	6
要介護　5	2	2	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3	20	1.66
人　数	**68**	**70**	**72**	**71**	**69**	**73**	**72**	**72**	**75**	**73**	**72**	**73**	**860**	**71.66**

オ　過去4年間の経緯　（単位：人）

	H22	H23	H24	H25
要支援1	159	109	119	146
要支援2	164	114	163	111
要介護1	476	328	297	369
要介護2	221	192	259	212
要介護3	184	133	141	187
要介護4	110	101	87	72
要介護5	64	64	42	20
実施数	1，378	1，041	1，108	1，117

(6) 介護情報サービスの公表

法に基づいた適切な情報公開を実施し、今後も事業所のサービス向上に努めていく。

(7) 軽度生活援助事業

主に介護保険に該当されなかった人に家事援助を行っている。平成24年度実績とほぼ横ばいの利用実績であった。

申請者に対し、この事業が本当に必要な人かどうか、他事業での包括的な支援・調査も含め、今後の検討課題としてあげられる。

ア　利用実績

	延べ利用者数	利用総時間数	延べ利用回数
家　事　援　助	143	529:00	535

(8) 生活管理指導員派遣事業

基本的な生活習慣ができていない人へ、生活指導員を派遣して指導・支援を行う事業である。今年度の利用はなかった。制度の周知が求められる。

(9) 外出支援事業

医療機関への通院に利用し、安全に移送援助に努めることができた。

平成23年7月に規定の変更があり、病院受診前後に月1回、金融機関や役場までの利用が認められるようになった。地域の皆さまに広く利用してもらえるよう更なる制度の周知を図ることが必要である。

ア　利用実績

	実　施　回　数												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	33	27	27	44	37	31	32	28	27	22	19	21	348
利用実人数	7	6	7	8	10	10	8	7	7	7	7	7	91

6　子育て世帯へのサービスの充実

(1) 病後児保育事業

病気または病気回復期のお子さんを、一時的にお預かりし、年齢、病気の程度に応じて、看護師、保育士などの職員が保育を実施。

ア　利用料金　　町内在住者　2,000 円　（ただし保育園、幼稚園児の預かりは 1,000 円）
　　町内勤務者　2,000 円
　　5時間未満は半額

イ　登録数　　（単位：世帯）

登　録　数			登録数	保　育　園	幼　稚　園	未　就　園	小学校
菊陽町			140	106	6	14	14
内訳	菊陽町勤務	熊本市	7	7	0	0	0
		合志市	3	0	1	2	0
		菊池市	1	1	0	0	0
合計			151	114	7	16	14

ウ　過去5年間の登録者数

	H21	H22	H23	H24	H25
年度別登録者数	110	147	158	142	151

エ　疾患別内訳等

（単位：円）

	利用数	開所数	利用日	病名	利用料
4月	42	25	22	感染性胃腸炎(3)胃腸炎(10)インフルエンザB(7)水痘(4)アデノウイルス感染症(2)RSウイルス感染症(1)中耳炎(1)喉頭炎(1)気管支炎(3)風邪(8)マイコプラズマ肺炎(2)	47,000 円
5月	36	24	20	水痘(5)風邪(10)感染性胃腸炎(1)胃腸炎(10)突発性発疹(1)発熱(1)インフルエンザB(2)手足口病(1)ヘルパンギーナ(1)アデノウイルス感染症(4)	38,000 円
6月	51	25	21	風邪（26）胃腸炎（2）扁桃炎(1)発熱(1)鎖骨骨折(5)ヘルパンギーナ(3)手足口病(15)	50,000 円
7月	47	26	22	風邪（20）ヘルパンギーナ(2)発熱(1)手足口病(15)気管支炎(7)胃腸炎(2)	49,500 円
8月	30	27	20	風邪（14）伝染性膿痂疹(3)中耳炎(2)扁桃炎(1)細菌性感染症(1)アデノウイルス感染症(6)マイコプラズマ肺炎(6)胃腸炎(1)	29,500 円
9月	24	23	16	風邪（13）胃腸炎(2)突発性発疹(1)発熱(1)手足口病(4)RSウイルス感染症(2)喉頭炎(1)	23,500 円
10月	28	26	20	風邪（14）アレルギー性鼻炎(1)喉頭炎(1)気管支炎(2)水痘(3)ウイルス性結膜炎(4)アデノウイルス感染症(2)胃腸炎(1)	28,000 円
11月	30	24	15	風邪（11）水痘(5)感染性胃腸炎(4)中耳炎(1)流行性角結膜炎(2)アデノウイルス感染症（7）	29,000 円
12月	35	23	19	風邪（7）アデノウイルス感染症(14)胃腸炎(1)水痘(4)溶連菌感染症(3)感染性胃腸炎(2)嘔吐下痢症(4)	39,000 円
1月	38	23	17	風邪（2）水痘(4)インフルエンザA(5)インフルエンザB(14)アデノウイルス感染症(1)感染性胃腸炎(12)	39,500 円
2月	43	23	19	風邪（2）インフルエンザA(11)インフルエンザB(20)扁桃炎(1)溶連菌感染症(2)アデノウイルス感染症(1)胃腸炎(1)新型インフルエンザ(2)感染性胃腸炎(3)	49,500 円
3月	25	25	17	風邪（6）水痘（2）感染性胃腸炎(2)溶連菌感染症(2)インフルエンザA(1)インフルエンザB(6)気管支炎(1)胃腸炎(1)新型インフルエンザ(2)アデノウイルス感染症(2)）	28,000 円
計	429	294	228		450,500 円

(2) つどいの広場事業（つどいの広場ぴーす）

子どもと一緒に子育て中の親が気軽に集まる場として、3歳未満の児童及び保護者を対象に実施している。

ア　利用者状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
0 歳児	93	125	117	137	85	160	156	170	154	193	174	164	1,728
1 歳児	69	83	57	61	40	73	63	67	72	52	48	58	743
2 歳児	78	79	98	118	60	100	89	94	104	113	94	114	1,141
3 歳児	59	1	0	33	35	0	0	0	0	0	0	0	128
4 歳児	0	0	0	15	23	0	0	0	0	0	0	0	38
計	**299**	**288**	**272**	**364**	**243**	**333**	**308**	**331**	**330**	**358**	**316**	**336**	**3,778**
保護者	235	250	235	265	169	278	250	250	253	275	233	250	2,943
組数	**233**	**246**	**226**	**262**	**164**	**277**	**250**	**249**	**253**	**275**	**233**	**250**	**2,918**
（新規）	5	15	10	10	8	14	14	14	7	15	11	4	127
相談	4	10	8	6	2	5	3	4	2	2	5	4	55

イ　イベント報告

開催日	参加人数（／人）		内　容	講　師
6月15日	11組	親　19 子　13	おとうさんのつどい	水野直樹
7月			水遊び （7/27～9/5　10回）	
8月	99組	親　99 子　180	夏のつどい （7/23･25･8/1･8･22）	
12月18日	29組	親　29 子　35	クリスマス会	母親有志による トーンチャイム
2月3日	9組	親　9 子　10	豆まき	
3月17日	23組	親　23 子　22	お別れ会	親子インタビュー
毎週月曜日			絵本読み聞かせ	
毎月			誕生会･身体測定	

クリスマス会

ウ　平成25年度　つどいの広場講演会及び講習会報告

開催日	参加人数（／人）		内　容	講　師
4月15日	10組	親　10 子　10	石けんつくり	内田早苗
5月20日	14組	親　14 子　15	親子エアロビクス	吉武千鶴
6月17日	8組	親　8 子　10	親子交通安全教室	大津地区安全協会 三池・岩下
7月8日	11組	親　11 子　17	救急法	泉ヶ丘消防署
8月19日	18組	親　18 子　33	親子エアロビクス	吉武千鶴
9月9日	19組	親　19 子　22	ベビーマッサージ	田添愛
10月15日	19組	親　21 子　19	ファミリーコンサート	アンサンブル cocoro （代表：古市麻美）
11月18日	16組	親　16 子　22	育児相談	栄養士 山野千代美
12月18日	29組	親　29 子　35	ディオコンサート	益田亮英・紘子
1月20日	15組	親　15 子　17	親子ヨガ	松元領子
2月17日	17組	親　17 子　23	人形劇	人形劇ひまわり 桑原美子　他3人
3月17日	23組	親　23 子　22	お別れ会（器楽演奏）	保護者・職員

(3)　育児支援家庭訪問事業

子どもの養育について支援が必要でありながら、近隣に親類がなく、子育てについて相談・支援を受けることが難しく子育てに不安を感じている家庭への支援を、訪問による育児・家事の援助等を実施し、当該家庭における安定した子どもの養育を可能とすることを目的としている。

ア　利用実績

月	利用者	支援者数	訪問日数	訪問時間	記録時間
4	2	1	8	16:00	4:00
5	2	1	9	18:00	4:30
6	2	1	11	21:00	5:00
7	2	1	11	22:30	5:30
8	2	1	9	18:00	4:30
9	2	1	9	18:00	4:30
10	2	1	7	14:00	3:30
11	2	2	5	7:30	2:30
12	1	1	3	6:00	1:30
1	1	1	2	4:00	1:00
2	2	1	5	9:00	2:00
3	2	1	4	8:00	2:00
計	**22**	**13**	**83**	**162:00**	**40:30**

(4)　ひとり親家庭等日常生活支援事業

ひとり親家庭が日常生活を送るのに困難な状況の時、その生活を支援する人を派遣している。平成25年度の利用はなかった。事業運営の見直しが求められている。

7 障がい者へのサービスの充実

(1) 訪問介護事業

このサービスは、利用者の自己決定を尊重し、利用者本位のサービスを提供することが基本である。この理念に基づき障がいのある方が地域で安心して暮らせるよう支援している。今後、利用者数も増加することが予想され、個々に合わせた対応に心がけていきたい。

ア 居宅介護サービス利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
利用回数	210	203	201	202	249	233	249	230	281	215	218	215	2,706
利用人数	16	17	16	16	18	16	18	18	20	20	18	16	209
利用時間	245:00	235:30	233:30	228:45	267:45	265:00	272:15	244:30	319:00	237:15	243:30	247:45	3039:45

(2) 同行援護事業

ア 同行援護事業利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
利用回数	4	3	4	4	3	5	4	8	10	17	14	22	98
利用人数	1	1	1	1	1	1	1	1	3	4	4	4	23
利用時間	8:30	4:30	7:30	8	5	12:30	6	18	18	22:30	17	37:30	165

(3) 移動支援事業

ア 移動支援サービス利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
利用回数	1	1	2	1	4	1	3	1	2	0	0	0	16
利用人数	1	1	1	1	2	1	2	1	1	0	0	0	11
利用時間	4:00	4:00	6:00	4:00	8:00	4:00	7:00	4:00	7:00	0	0	0	48:00

車いす仕様車（リフトタイプ）「ひばり号」

(4) 訪問入浴サービス事業

ア 訪問入浴サービス事業利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
利用回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

V 安全で住みよいまちを目指して、交通安全の啓発、減災に取り組んでいきます

1 交通安全に向けた意識の啓発

(1) 意識啓発活動

各ふれあいサロンにおいて、大津地区交通安全協会講師による交通安全講習会を実施

NO	サロン地区名	開催日	開催場所	人数
1	駅前	5月16日	駅前公民館	20
2	曲手	8月19日	曲手公民館	25
3	馬場	9月5日	馬場公民館	30
4	下津久礼	1月14日	下津久礼公民館	30
5	八久保	1月16日	八久保公民館	25
6	上津久礼	2月7日	上津久礼公民館	30
7	杉並台	2月18日	杉並台公民館	30

2 減災支援

(1) 災害時要援護者避難支援計画への協力

菊陽町が策定した災害時要援護者避難支援計画における協力・支援を実施した。

(2) 災害ボランティアセンター設置訓練

平成25年度実施せず	平成26年度職員向け災害ボランティアセンター設置訓練実施予定

(3) 福祉避難所設置訓練実施の検討

ア 検討会議の実施

日 付	参 加 者	内 容
4月2日	菊陽町福祉課 2人 町社協 3人	福祉避難所避難訓練協議 町防災訓練等情報の共有等について
7月4日	菊陽町福祉課 5人 町社協 2人	福祉避難所運営マニュアル策定会議

(4) 菊池ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定

菊池管内において災害が発生し、社会福祉協議会活動が十分に実施できない場合、菊池ブロックの社会福祉協議会相互に応援を円滑にできるようにするため、協定を締結した。

平成25年9月24日	菊池市社協七城支所	社協職員9人 防災協定に関する打合せ
平成26年1月16日	菊池市泗水総合支所	2市2町会長(代理者)及び関係職員が出席

(5) 菊陽町防災訓練

平成 26 年 3 月 23 日(日)菊陽町防災訓練(水防訓練)が実施され、町社会福祉協議会職員も参加した。

災害時要援護者避難支援計画個別計画に伴う避難誘導や、福祉避難所訓練等に同行した。

日 付	場所	職員参加者
3月23日	菊陽南小学校区及び 町老人福祉センター	4人

災害時相互応援協定締結(H26.1.16)

Ⅵ 菊陽町社会福祉協議会の基盤体制の整備

1 法人運営・基盤強化

(1) 財源の確保

ア 社会福祉協議会会費

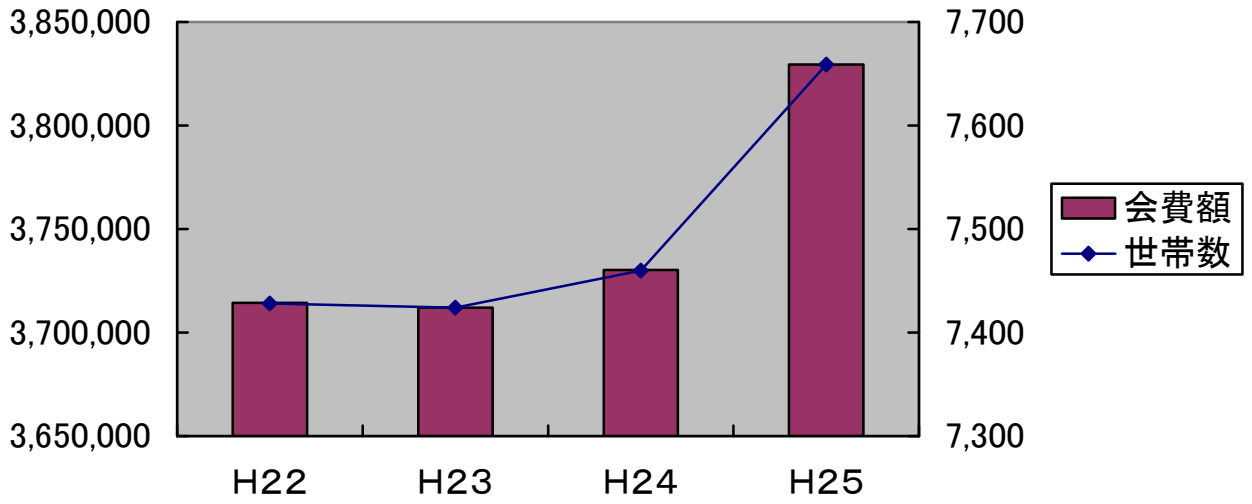
8月から10月に、社協会費を住民の皆さまへお願いしている。また、希望される区長・自治会長へ役員会等で、町社会福祉協議会事業の説明を行い、会費納入のお願いをしている。

一般会費の世帯数・納入額ともに昨今に比べ増加している。

理事の皆さまに、8月22日研修会後に、交流会も兼ねた社会福祉協議会会費の納入についてご意見をいただく会議を実施した。貴重な自主財源確保のため、社会福祉協議会活動の理解を深めていただくため社会福祉協議会活動を今後もアピールしていきたい。

① 会費の納入状況　　平成25年3月31日現在世帯数 15，065

会費種類	内容	実績	会費額	納入率
一般会費	一世帯 500円	7，659世帯	3，829，400円	50．8%
賛助会費	1口千円から受付	83口	83，000円	



② 年度別納入状況　　（単位：円）

	H22		H23		H24		H25	
一般会費	7,428	53.7%	7,424	52.3%	7,460	50.4%	7,659	50.8%
合計金額	3,714,350		3,712,000		3,730,200		3,829,400	

イ 寄付金

住民の皆さまからの寄付を社会福祉協議会では募っている。

にこにこ献金	300，000円	（17件）
香典返し	3，720，000円	（134件）
その他の寄付	2，172，753円	（41件）
合計	6，192，753円	（192件）

(2) 職員の資質の向上

ア　実習生の受け入れ

平成25年度の受入はなかった。

イ　主任会議

毎月第2木曜日終業後　計12回開催した。

ウ　各事業別打合せ会議　　定例的に事業ごとに会議を実施　月1回程度

エ　衛生委員会　　月1回　研修内容等の企画

オ　全体会　　毎月第3月曜日実施　計12回

4月15日	互助会総会	10月21日	感染症
5月20日	食中毒　ホウ酸団子つくり	11月18日	認知症
6月17日	災害　緊急時対応	12月16日	レクリエーション
7月22日	災害　演習	1月20日	健康診断後講話
8月19日	交通安全	2月19日	レクリエーション　ヨガ
9月17日	福祉人としての倫理	3月17日	ゲートキーパー研修

カ　菊池圏域CSW研究協議会

菊池圏域社協職員の親睦・学習を通し、職員研鑽につとめた

NO	日付	場所	内容
1	6 月 27 日	大津社協	今年度の取組
2	8 月 21 日	合志市社協	社協会費について学習
3	10 月 23 日	菊池市社協泗水支所	広報・PR活動について学習
4	12 月 19 日	菊陽社協	HUG演習
5	3 月 6 日	大津社協	クロスロード演習

キ　認知症キャラバンメイト講師派遣

認知症サポーター養成のため、町社会福祉協議会職員が会合に参加し、研修を実施した。平成25年9月より認知症地域支援推進員を設置し、地域の認知症における相談援助を実施した。

①　講師派遣

日にち	場所
7月16日	入道水ふれあいサロン
7月26日	わがままデイサービスサポーター養成講座
10月31日	武蔵ヶ丘中学校

②　フォローアップ研修、打合せなど

日にち	場所
7月22日	役場庁議室
8月19日	打合せ
9月30日	役場庁議室
10月21日	打合せ
1月10日	杉並木公園管理センター

(3) 関係機関との連携強化

ア　視察研修受け入れ

6月26日	宗像市地区福祉会連絡協議会視察研修
7月12日	春日市生活支援サポーター視察研修
9月4日	宗像市日の里地区福祉会視察研修
11月1日	鹿屋市社会福祉協議会視察研修
11月22日	島根県津和野町民生委員児童委員協議会視察研修
12月10日	大牟田市社会福祉協議会視察研修
1月22日	天草市社会福祉協議会地域福祉権利擁護事業生活支援員視察研修
3月7日	小国町社会福祉協議会配食サービス視察研修（職員3人）

イ 平成25年度研修等出張報告

年月日	内 容	年月日	内 容
平成 25 年 4 月 23 日	防災ボランティアすぎなみ総会	4 月 18 日	新会計基準研修会
4 月 24 日	菊池ブロックボランティア連絡協議会連絡会議（泗水）	4 月 24 日	更生保護女性会総会並び設立 50 周年記念式典
4 月 25 日	菊陽町老人クラブ連合会総会	4 月 27 日	きくよう舞の会チャリティ
5 月 1 日	市町村災害ボランティアセンター設置運営研修会	5 月 9 日	熊本県ボランティア連絡協議会総会
5 月 15 日	市町村社協事務局長研修会	5 月 16 日	菊陽町老人クラブ連合会春季グラウンドゴルフ大会
5 月 17 日	菊池地域生活福祉・就労支援協議会	5 月 21 日	菊陽町民生委員児童委員協議会高齢障がい者部会研修同行
5 月 22 日	町社会福祉協議会について菊陽町議会議員に説明	5 月 27 日	菊陽町商工会通常総会
5 月 29 日	菊陽町身体障害者福祉協会総会	6 月 2 日	菊陽町手をつなぐ心障者の会総会
6 月 5 日	菊陽町防災会議	6 月 6 日	熊本県市町村社協理事会
6 月 8 日	菊陽町ボランティア連絡協議会総会	6 月 9 日	菊池郡市母子寡婦福祉連合会総会
6 月 9 日	菊池郡市母子寡婦福祉連合会親と子のつどい	6 月 12 日	大津町社協デイサービス視察
6 月 18 日	明るく住みよい社会をめざす青少年のつどい実行委員会	6 月 19 日	介護サービス事業者等集団指導
6 月 18 日から 6 月 19 日	菊陽町民生委員児童委員協議会視察研修（北九州市）	6 月 21 日	市町村災害ボランティアセンター設置運営研修会
6 月 21 日	介護サービス事業者等集団指導	6 月 23 日	菊陽町母子寡婦福祉連合会総会
6 月 25 日	熊本県市町村社協連合会総会	6 月 28 日	菊陽中央公民館運営審議会
7 月 4 日	社会保険事務説明会	7 月 13 日	明るく住みよい社会を目指す青少年のつどい
7 月 13 日	菊池郡市社会福祉施設職員体育実技研修会	7 月 16 日	要保護児童対策協議会実務者会議
7 月 17 日	合志市社協デイサービス視察	7 月 17 日	菊陽町民生委員児童委員協議会地域福祉部会研修同行
7 月 18 日	介護支援専門員・介護事業所等研修会	7 月 26 日	サンライズヒル夏祭り
8 月 2 日	生活福祉資金相談員等会議	8 月 21 日	認知症の理解・対応・支援
8 月 22 日	市町村社協トップセミナー	8 月 22 日	町社会福祉協議会理事交流会
8 月 30 日	第 1 回民生委員推薦会	8 月 31 日	これからの墓地のあり方検討会議
9 月 3 日	認知症高齢者セミナー	9 月 4 日	生活支援員等研修会
9 月 6 日	市町村社協会計担当者等研修会	9 月 10 日	熊本県地域の縁側つくり情報交換会
9 月 14 日	きほう苑敬老会	9 月 17 日	ボランティアセンター機能強化別研修会
9 月 19 日から 9 月 21 日	認知症地域支援推進員研修	9 月 29 日	外村歌謡教室チャリティー歌謡彩
10 月 5 日から 10 月 6 日	ボランティアフェスティバル八代	10 月 6 日	第 2 回介護セミナー
10 月 15 日	ゲートキーパー講習打合せ	10 月 16 日	自立支援勉強会
10 月 25 日	菊陽町老人クラブ連合会1市2町グラウンドゴルフ大会	11 月 12 日	安全運転管理者講習会
11 月 13 日	ゲートキーパー養成講座	11 月 15 日	給与所得の年末調整説明会
11 月 17 日	熊本県ホームヘルパー後期研修会	11 月 21 日	「地域ケア会議と多職種・他機関連携支援困難ケース対応と地域連携支援」研修
11 月 21 日	菊池市地域包括支援センター研修会	11 月 25 日	苦情解決第 3 者委員会研修
11 月 31 日	地域密着型特別養護老人ホームきらら落成式	12 月 3 日	これからの要支援者の支援のありかたを考える
12 月 4 日	福祉巡回車（ふれあい号）寄贈式	12 月 4 日	益城町高齢者相談講演会
12 月 7 日	同行援護従事者養成研修	12 月 9 日	食の安全セミナー
12 月 10 日	ボランティアセンター機能強化別研修会	12 月 14 日	同行援護従事者養成研修
12 月 16 日	市町村社協経営基盤強化研究会議	12 月 16 日	市町村社会福祉協議会経営基盤強化研究会

12 月 18 日	自立支援サービス部会	12 月 18 日	ボランティアセンター活動業務研修会
12 月 21 日	同行援護従事者養成研修	12 月 21 日	うきは市社会福祉協議会配食サービス視察研修
12 月 20 日	大津菊陽生活困窮者担当会議	12 月 26 日	市町村認知症施策推進研修会
1 月 11 日	認知症ケア集中講義	1 月 20 日	地域福祉推進フォーラム
1 月 23 日	タクティールケア体験セミナー	1 月 23 日から 1 月 24 日	認知症地域支援体制推進「全国合同セミナー」
1 月 26 日	菊陽町手をつなぐ心障者の会新年会	1 月 27 日	菊池地域精神保健医療福祉連絡会及び菊池地域自殺対策連絡会
1 月 28 日	地域福祉力向上研修	2 月 2 日	菊池郡市母子寡婦福祉連合会親子レクリエーション大会
2 月 2 日	春節の会	2 月 2 日	身体介護技術演習研修
2 月 11 日	職員採用試験	2 月 12 日	利用者の立場に立った訪問介護計画の作成と実践
2 月 14 日	社会福祉法人会計実務（決算）研修会	2 月 16 日	菊陽町公民館大会
2 月 20 日	大津地区犯罪被害者支援連絡協議会総会	2 月 25 日	ファミリーサポートセンターアドバイザー等研修会
3 月 4 日	第 2 回菊池地域リハビリテーション推進会議	3 月 7 日	社会福祉法人法令関係研修会
3 月 8 日	同行援護従事者養成研修「応用課程」	3 月 10 日	町委託事業担当職員会議
3 月 17 日	ごきげんコール総会	3 月 23 日	町水防訓練　白川左岸南小校区
3 月 25 日	障害福祉サービス集団指導		

ウ　当事者組織の支援

運営及び行事への参加等各福祉団体への支援

老人クラブ連合会　身体障害者福祉協会　手をつなぐ心障者の会　母子寡婦福祉連合会
更生保護女性会　遺族会　子ども会育成連絡協議会　ボランティア連絡協議会
民生委員児童委員協議会

(4) 個人情報保護対策

各部署にて、個人情報保護対策及び守秘義務の徹底を図るために、各種研修会への参加や学習会を実施し、個人情報の保護に取り組んだ。今後も関係機関との情報共有について検討を進める。

(5) 町社会福祉協議会説明会の開催

5月1日　武蔵ヶ丘1町内老人会会合にて、説明会を実施した。
今後もさらに周知し、町社会福祉協議会の理解を進める。

(6) 町社会福祉協議会基盤強化

ア　理事会の開催

開催年月日	出席者数/定数	議　　題
5月28日	11/13	1.　平成24年度事業報告について 2.　平成24年度一般会計決算の承認について 3.　平成24年度福祉金庫公益事業特別会計決算の承認について 4.　平成24年度高額療養費資金貸付公益事業特別会計決算の承認について 5.　平成24年度祭壇貸付収益事業特別会計決算の承認について 6.　菊陽町社会福祉協議会評議員の欠員補充について
9月25日	12／13	1.　平成25年度一般会計補正予算（第1回）について その他
12月19日	10／13	1.　平成25年度一般会計補正予算（第2回）について 2.　菊陽町社会福祉協議会評議員の欠員補充について
平成26年 3月27日	10／13	1.　平成25年度一般会計補正予算（第3回）について 2.　平成26年度事業計画（案）について 3.　平成26年度一般会計予算（案）について 4.　平成26年度福祉金庫公益事業特別会計予算（案）について 5.　平成26年度高額療養費資金貸付公益事業特別会計予算（案）について 6.　菊陽町社会福祉協議会処務規程の全部改正について 7.　菊陽町社会福祉協議会副会長の選出について

理事会　平成26年3月27日

イ　監査の開催

監　査　の　内　容	実　施　日	出席者
定　例　監　査	5月16日	4人
	9月10日	4人
	1月28日	4人
内部監査	5月15日、8月26日 8月30日、1月24日	計4回開催

ウ 評議員会

開催年月日	出席者数/定数	議　　題
5月28日	20/27	1.　平成24年度事業報告について 2.　平成24年度一般会計決算の承認について 3.　平成24年度福祉金庫公益事業特別会計決算の承認について 4.　平成24年度祭壇貸付収益事業特別会計決算の承認について 5.　平成24年度高額療養費資金貸付公益事業特別会計決算の承認について
9月25日	22／27	1.　平成25年度一般会計補正予算（第1回）について 2.　菊陽町社会福祉協議会理事の欠員補充について その他
12月19日	15／27	1.　平成25年度一般会計補正予算(第2回)について 2.　菊陽町社会福祉協議会理事の欠員補充について
平成26年 3月27日	22／27	1.　平成25年度一般会計補正予算（第3回）について 2.　平成26年度事業計画（案）について 3.　平成26年度一般会計予算（案）について 4.　平成26年度福祉金庫公益事業特別会計予算（案）について 5.　平成26年度高額療養費資金貸付公益事業特別会計予算（案）について 6.　菊陽町社会福祉協議会処務規程の全部改正について

エ 苦情解決体制の設置

① 苦情解決責任者　社会福祉協議会事務局長

② 第3者委員　第3者委員を1人設置し、苦情に対応

オ 産業医等の契約

産業医、公認会計士、社会保険労務士と契約を結び、法人運営時の必要に応じて、相談に応じていただき、円滑な会の運営を図っている。

2 その他業務

(1) サービス利用料金の徴収業務

町社会福祉協議会が行っているサービス事業の利用料金徴収業務を行っている。

(2) 指定管理業務

平成24年4月1日に、菊陽町と指定管理者として、3ヵ年間の業務協定を締結し、老人福祉センターと、福祉支援センター、ふれあい交流・福祉支援センターを管理している。（平成26年度契約終了予定）

ア 老人福祉センター

① 利用実績

団　体	人　数	2，074人
	回　数	87回
減免者総数		9，812人

イ 福祉支援センター

① 利用実績（福祉関係者団体は無料）

	会議室	録音室	ごきげんコール室
回数	216回	19回	152回
人数	5，354人	105人	258人

ウ　ふれあい交流・福祉支援センター

課題としては、駐車場に限りがあるので、注意しながら受け入れている現状。

①　利用実績

	利用団体	利用時間	利用人数
町内	379	893	3，825
町外	38	118	447
減免	476	2，622	8，689
計	893	3，633	12，961

エ　マイクロバス運行状況

運行回数（回）	156	走行距離(km)	3，887
乗車人員（人）	2，279	燃料	959

（3）車輌管理

ア　安全運転管理モデル事業所の委嘱

平成24年10月31日に、大津警察署及び大津地区安全運転管理者等協議会より、安全運転モデル事業所の委嘱を受け、交通安全に取り組んでいる。委嘱期間は平成26年9月30日までの2年間。

3　日赤社資

国際的な救援活動や災害時でこの社資が使われている。

（1）活動報告

ア　会議報告

開催日	内容
4月10日	地区・分区事務長並びに事務主任者会議
7月11日～7月12日	日赤地区本部・分区事務担当者研修会

イ　日赤社資のお願い

7月2日	武蔵ヶ丘1町内役員会にて事業説明
7月7日	上津久礼役員会にて事業説明
7月11日	光の森4町内役員会にて事業説明

ウ　周知活動

9月29日	菊陽中部小学校設立140周年記念式典 災害時組み立て式釜によるハイゼックス米実演
11月9日	すぎなみフェスタ時に防災ボランティアすぎなみ 炊き出し活動

エ　災害時組み立て式釜の貸し出し件数

24件　（町社会福祉協議会で災害用の釜を4台管理）

（2）募金額報告

ア　日赤社資実績（平成25年度目標額　4，800，000円）　（単位：円）

	金　額
一　般　社　資	3，442，547
法　人　社　費	10，000
合　　計	3，452，547

イ　義援金

54，685円（東日本大震災義援金）

（3）日赤菊陽町分区事務費報告

地区分区交付金清算内訳書

【交付金等内訳】　（単位:円）

交付金等の内訳	支部からの交付額	備　　考
1　当年度事務費交付金	358，054	平成25年度に交付された金額
2　当年度事業費交付金	358，054	
3　前年度末災害など積立資金	364，592	平成24年度末繰越金(利息を含む)
合　　計	1，080，700	

【支出内訳】　（単位:円）

	対　象　事　業	対象経費 支出額	事業報告及び 支出済対象経費明細
交付金費	社員管理及び 社員募集活動に伴う事務的経費		
	1人件費	249，000	
	2人件費を除く事務的経費	170，640	印刷機リース 共済保険料
	小　計（A）	419，640	
事業費交付金	1災害救護費	201，343	事務諸費
	2保健衛生普及費	0	
	3血液事業費	0	
	4救急法等普及費	0	
	5奉仕団費	30，000	奉仕団（菊陽町地域婦人会）
	6青少年赤十字費	0	
	7広報活動費	595	永年表彰地区額縁
	8地域福祉活動費	51，700	区長会　事業説明会
	9事務的経費	12，670	切手
	10災害等資金積立金	364，752	
	小　計（B）	661，060	
合　計（A＋B）		1，080，700	

4 赤い羽根共同募金

共同募金は社会福祉協議会活動を行う上で大切な財源となっている。共同募金の使われ方などを広く住民の皆さまに周知していくことが求められている。

東日本大震災義援金は、平成25年度をもって終了した。

（1）活動報告

ア 会議報告

開催日	内　容
8月22日	第1回九州主要都市赤い羽根ミーティングIN熊本市
9月6日	共同募金改革検討委員会
9月25日	菊陽町共同募金目標額設定会議
12月19日	共同募金改革検討委員会
1月27日	共同募金改革検討委員会
2月13日	共同募金改革検討委員会
2月20日	県容堂募金会市町村共同募金委員会及び支会分会事務局長会議

イ 広域活動

10月1日	第51回赤い羽根空の第一便伝達式

ウ 企業募金

12月11日から12月13日	町内企業へ企業募金のご依頼に、地域のボランティア、町社会福祉協議会理事及び評議員と実施した。

エ 街頭募金

開催日	場　所
11月9日	菊陽杉並木公園さんさんスポーツ広場　すぎなみフェスタ
12月15日	イオン菊陽店
12月22日	ゆめタウン光の森

（2）募金額報告

ア 募金額

平成25年度目標額　5，536，000円

菊陽町実績額　5，254，518円

	金　額
一 般 募 金	3，518，394
法 人 募 金	925，427
街 頭 募 金	456，557
職 域 募 金	215，169
その他	138，971
計	5，254，518

イ 義援金

55，091円（東日本大震災義援金及びフィリピン台風災害義援金）

（3）事務費収支報告

【事務費収入の部】	
	決算額
1　前期繰越金	72，061
2　本会より配分金収入	286，154
3　受取利息配当金収入	37
4　雑収入	45，000
経常収入計	**403，252**

【事務費支出の部】	
	決算額
1　人件費支出	165，600
2　事務費	236，027
消耗品費	16，716
通信運搬費	61，215
旅費交通費	300
募金資材費	117，491
雑費	40，305
経常支出計	**401，627**
当期資金収支差額合計	1，625
当期末支払資金残高	1，625

社会福祉法人　菊陽町社会福祉協議会
〒869－1103
熊本県菊池郡菊陽町久保田2623番地
（菊陽町老人福祉センター内）
電話：096-232－3593
FAX：096-232－7385
ホームページ：http://swkikuyo.or.jp
E－MAIL：info@swkikuyo.or.jp